

# 北中城村健康長寿のまちづくり計画

～楽しく健やかな未来をめざして～

ちゃーわらいかんてい ちゃーがんじゅう



**女性の平均寿命日本一！ 89.0歳**



## はじめに

村民のみなさま、日頃より村政へのご協力をいただき誠にありがとうございます。

さて周知のとおり、本村は女性の平均寿命日本一（89.0歳・平成25年厚生労働省発表）の長寿地域であると言われていたのですが、同時に、65歳未満の死亡率は15.3%（平成22年厚生労働省発表）と高く、また、メタボリックシンドロームに起因する各種疾患の多さ等も指摘されており、特に若年層の村民の健康状態が危ぶまれているところです。



このような現状を受け、本村では、村民のみなさまが生涯を通して健やかに生活できることを目的とした「北中城村健康長寿のまちづくり」計画を策定し、今後、村を挙げての健康づくりに取り組んでいくことといたしました。

村役場内においては、「課ごと」の枠にとらわれず、各課同士が連携しての「全庁体制」での健康づくりに取り組んでいきます。

また、村内各自治会や商工会、医療機関、各企業・団体等と連携し、幅広い意味での「健康づくり」関連事業の実施ができればと考えております。

各種の取り組みが年々広がっていくことで、村民の皆さまの健康状態の改善のみならず「楽しみ・生きがいの増加」「産業振興・観光振興」「医療費・福祉関係費の抑制」「地域コミュニティの活性化」など、様々な良い効果が出ることを期待しており、本計画策定により今後村の実施すべき施策が明確になると同時に村民の方々一人ひとりの健康づくりのきっかけになればと思います。

村民のみなさまの本計画に対するご理解、ご協力をお願いするとともに、本計画の策定にあたりご意見・ご提案をいただきました関係各位に対し厚くお礼を申し上げ、ごあいさつとさせていただきます。

平成26年3月

北中城村長 新垣 邦男

## ＜北中城村地域活性化キャラクターについて＞

平成 26 年 2 月、北中城村で 3 体の地域活性化キャラクターが誕生しました。

おまつり大好き「“北” のペーちゃん」、頭が北中城村の形をしている「“中” ゆくりん」、そして、健康おたくの「“城” まーい」の 3 体が、北中城村を PR するために今後活躍します。

本計画書内にも何度か登場する 3 体を、どうぞよろしくおねがいします。



“北の” ペーちゃん



“中” ゆくりん



“城” まーい

## < 目 次 >

### 序 章：計画策定の背景等

1. 計画策定の背景と目的	1
2. 計画の位置づけ	1
3. 計画の期間	2
4. 策定フロー	2

### 第1章：健康長寿に係る各種データの整理

1. 北中城村の現況	
(1) 人口・世帯の動向	3
(2) 商業・経済等	9
(3) 健康づくり活動拠点の立地状況	12
(4) 財政の状況	13
(5) 庁内各課や村内各団体等の取り組み状況	14
2. 健康に係るデータの状況	
(1) 平均寿命の推移	19
(2) 国民健康保険の状況	21
(3) 医療費の推移	22
(4) 特定健康診査・特定保健指導の状況	23
(5) 生活習慣病の状況	26
(6) 死亡率等の状況	27
(7) 医療費増加の要因分析	29

### 第2章：村民の意識等

1. 村民アンケート調査	
(1) 調査の概要	30
(2) 回答者の概要	31
(3) 健康状態について	35
(4) 食生活について	41
(5) 運動について	45
(6) 歯の健康について	47
(7) 日常生活について	48
(8) 村の健康長寿に対する取り組みについて	56
2. 長寿者ヒアリング	67
3. 自治会ヒアリング	69

### 第3章：健康長寿に係る取り組み事例

1. 先進事例ヒアリング調査	
(1) 福島県西会津町	73
(2) 長野県松川村	75
(3) 沖縄県南城市	75
2. 試行事業の実施	
(1) SAT体験イベント	78
(2) ノルディックウォーキング	80
(3) 女性の長寿日本—PR活動	81
3. プレ村民会議・健康づくり連絡会（庁内会議）	
(1) プレ村民会議	82
(2) 健康づくり連絡会（庁内会議）	83

### 第4章：課題・特性の整理と取り組みの方向性

1. 国や県における課題の整理	
(1) 「健康日本21」に示される課題	84
(2) 健康おきなわ21に示される課題	84
(3) 沖縄県「健康長寿おきなわ復活推進本部」の立ち上げについて	85
2. 本村の健康長寿に係る課題・特性の整理	86

### 第5章：計画の実施に向けて

1. 多様な主体との連携による取り組み体制	89
2. 今後の取り組みの基本計画	89

### 《参考資料》

1. アンケート調査票	92
2. 北中城村健康長寿のまちづくり村民会議設置要綱	96
3. 北中城村健康長寿のまちづくり計画・「プレ村民会議」委員名簿	97
4. 北中城村健康づくり連絡会設置要綱	98

## 序 章 計画策定の背景等

### 1. 計画策定の背景と目的

本村は、平成 17 年と平成 22 年の二度、女性の平均寿命日本一となった（平成 17 年：89.3 歳。平成 22 年：89.0 歳。厚生労働省発表）ことや、地域の人々同士のつながりが強く各種地域の活動が活発であるとの理由等により、「元気で長生きのお年寄りが多く住む村」というイメージが強い地域だと言われています。

一方、65 歳未満の村民の死亡率は 15.3%（平成 22 年 厚生労働省発表）と高いことや、その背景として若年層におけるメタボリックシンドロームや各種疾患の多さが指摘されるなど村民の健康状態に係る課題は多く、数十年後の村民の更なる健康状態の悪化が危惧されている現状があります。

そのため、本村では「健康長寿のまちづくり」計画を策定し、20～30 年後までを見据えた健康長寿対策に取り組むことで、赤ちゃんからお年寄りまでの総合的な健康づくりを目指すこととしました。

一人ひとりの「意識づくり」からはじまり、食生活や運動習慣の改善を図ることや、村と村内各団体とが連携しての「健康づくり」関連事業を実施することで、一人ひとりの健康状態の改善のみならず「楽しみ・生きがいの増加」「産業振興・観光振興」「医療費・福祉関係費の抑制」「地域コミュニティの活性化」など、様々な効果が出ることを期待し、本計画を策定するものとします。

### 2. 計画の位置づけ

#### (1) 上位・関連計画

平成 16 年に策定（基本構想期間は平成 16 年度から平成 25 年度の 10 年間）の『北中城村第三次総合計画』においては、まちづくりの目標 4 つのうちの一つに「いきいき健康まちづくり」が掲げられており、本計画（健康長寿のまちづくり計画）は、それら目標を達成するための、更に具体的な行動指針の設定・補足を盛り込んだ内容となっています。

なお、平成 26 年度内に『北中城村第四次総合計画』が策定されますが、同計画においても第三次総合計画と同様の考え方（「いきいき健康まちづくり」）が踏襲され、計画内容に組み込まれる予定であるため、第四次総合計画策定後も、総合計画と本計画との関連性が保たれるものとなります。

### 3. 計画の期間

本計画の実質的な実施期間は、計画策定後3年間（平成26年度～平成28年度）を目途とし、平成28年度中に計画の見直しを行う予定です。

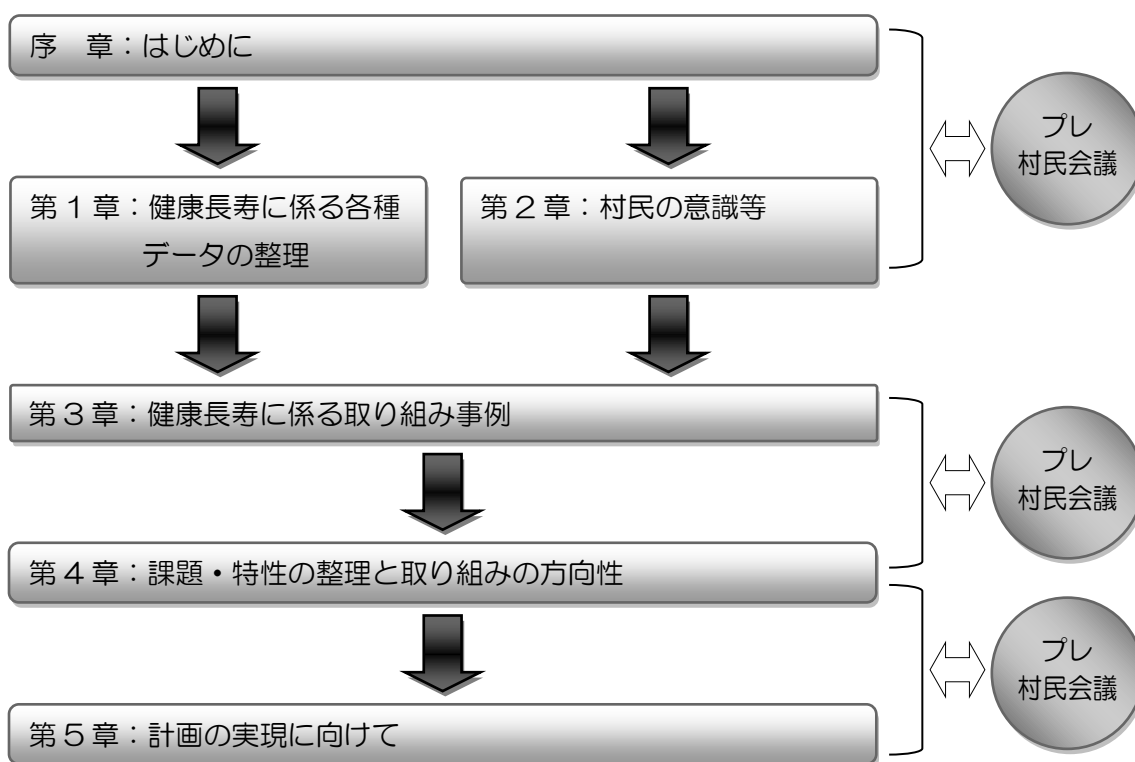
なお現在、本計画に終了予定時期の明確な定めはなく、20～30年スパンでの長期的な計画実施をする予定です。

### 4. 策定フロー

本計画は、以下のフローにしたがい策定しました。

健康長寿にかかる各種データやレセプトデータの整理、村民の意識調査結果の分析等を通して村を取り巻く現状と課題を明らかにした上で、今後の目標を設定しています。

また、その他村外有識者・村内各団体代表者委員で構成する「プレ村民会議」での議論を計画策定の参考としました。



#### <本書での留意点>

- 統計指標の調査年次が資料により異なる場合があります。
- 調査年次が同じであっても、統計指標によって数値が異なる場合があります。
- 統計指標やアンケート調査結果の数値について、小数点第二位以下を四捨五入しているため、合計値が合わない場合があります。



# 第1章 健康長寿に係る各種データの整理

## 1. 北中城村の現況

### (1) 人口・世帯の動向

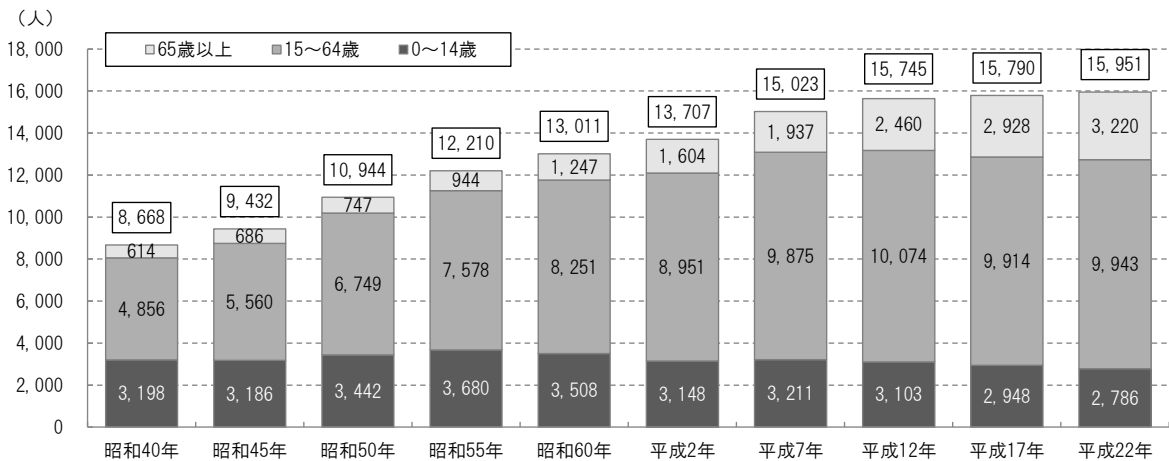
#### ① 人口・世帯数の推移

- 人口・世帯数は、ほぼ横ばいに推移しています。また、1世帯あたりの人員は減少しており、世帯規模の縮小がうかがえます。

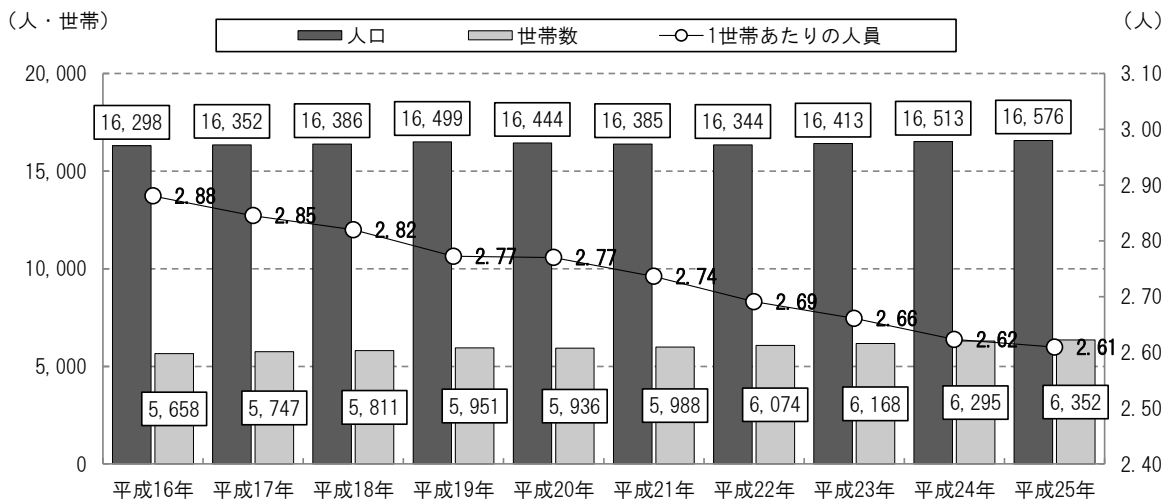
国勢調査によると、本村の人口は一貫して増加傾向にあります。近年は横ばいに推移しています。

平成25年3月末時点の住民基本台帳によると、本村の人口は16,576人、世帯数は6,352世帯となっており、過去10年間の推移をみると人口・世帯数の伸びは鈍化しています。また、1世帯あたりの人員は減少傾向にあり、平成16年で2.88人/世帯であったものが平成25年で2.61人/世帯になるなど、世帯規模の縮小がうかがえます。

■人口・世帯数の推移（国勢調査より）



■過去10年間の人口・世帯数の推移（住民基本台帳・各年3月末現在より）



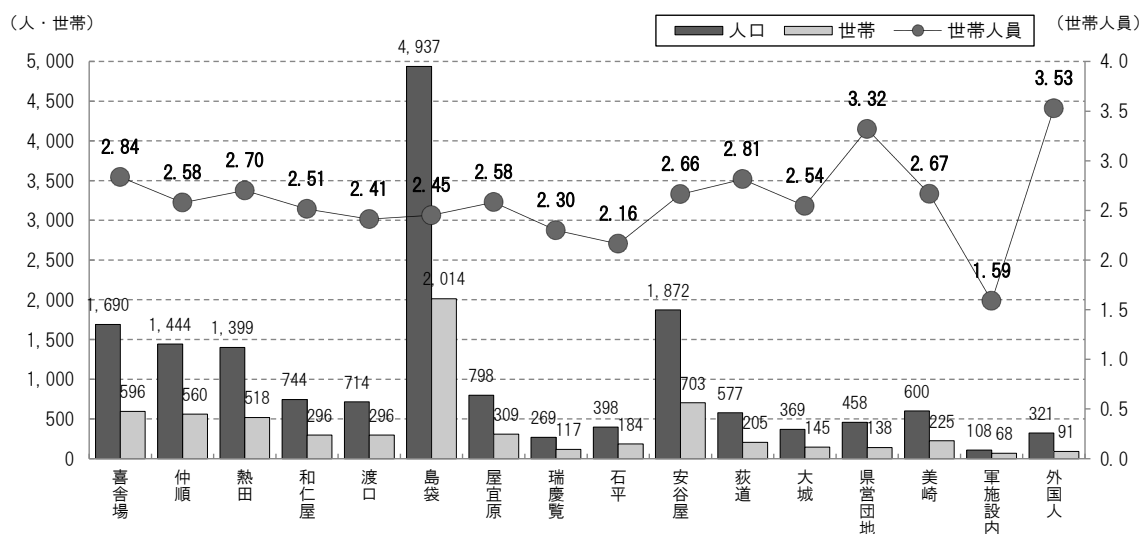
## ② 字別人口・世帯数

➤ 行政区単位で人口や世帯数や大きく異なっています。

平成26年1月末時点の住民基本台帳によると、本村の人口は16,698人となっており、行政区単位でみると最も多い地域は「島袋」で4,937人、次いで「安谷屋」「喜舎場」となっています。また、「軍用地内」「外国人」を除いた地域のうち人口が最も少ないのは「瑞慶覧」で269人となっています。

世帯数も同様に「島袋」が2,014世帯と最も多く、次いで「安谷屋」「喜舎場」となっており、行政区単位で人口や世帯数が大きく異なっています。

■行政区別の人口・世帯数・1世帯あたり人員（住民基本台帳・平成26年1月末現在より）

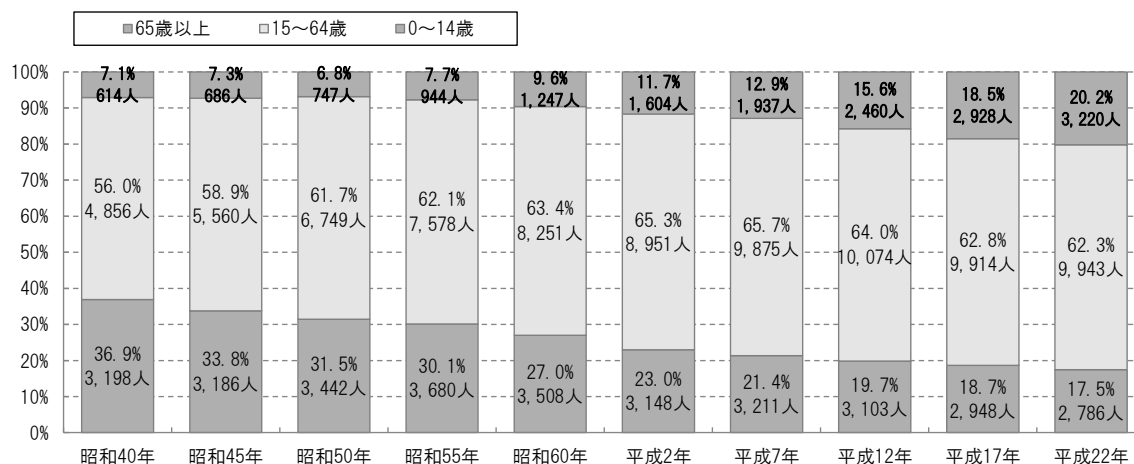


## ③ 高齢者数・高齢化率の推移

➤ 65歳以上の高齢者数・高齢化率ともに増加傾向にあります。

国勢調査によると、65歳以上の高齢者人口の割合は増加傾向にあり、平成22年時点の高齢者人口は3,220人、高齢化率（全人口に占める65歳以上人口の割合）は20.2%となっています。

■高齢化率等の推移（国勢調査より）



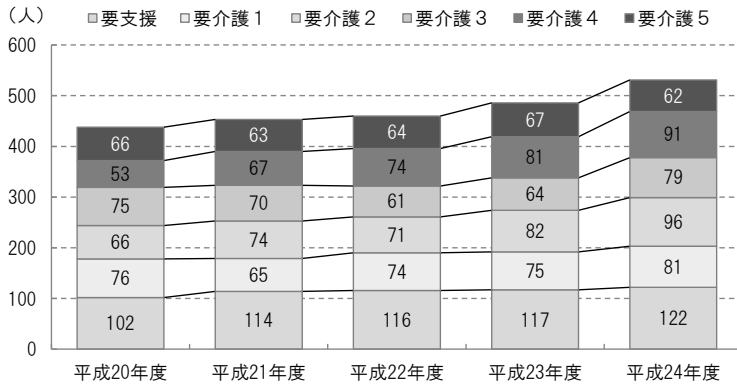
④ 要支援・要介護者数の推移

➤ 高齢者数の増加に伴い、要支援・要介護者数も増加しています。

高齢者数の増加に伴い、要支援・要介護者数も増加傾向にあります。

高齢者や要支援・要介護者が増加すると、社会保障給付費（介護・医療・年金）が大きく増加します。そのため、介護・医療をどう効率化していくかが、大きな課題となります。

■要介護（要支援）認定者数（村福祉課資料より）



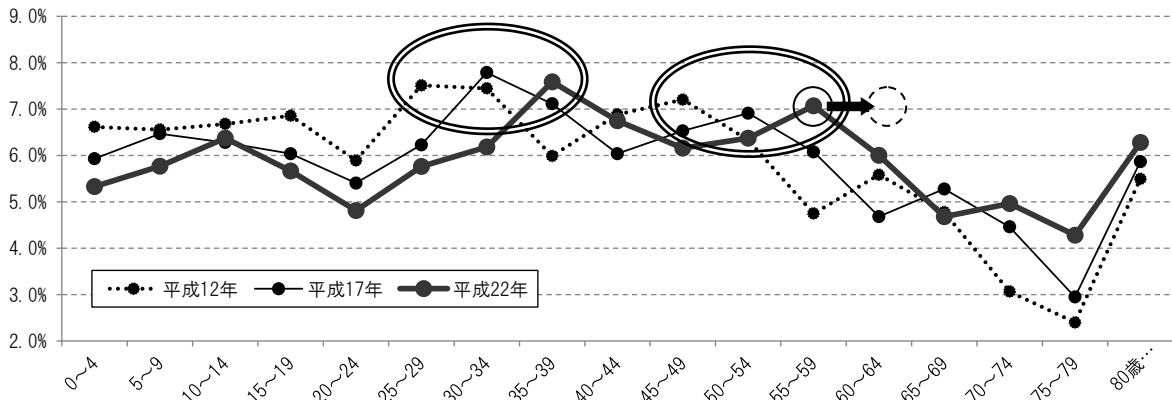
⑤ 年齢5歳階級別人口の変化

➤ 団塊の世代の高齢化により、今後ますます高齢化が進行することが予想されます。

国勢調査によると、本村の年齢5歳階級別（5歳ごとの人口）の人口割合は、大きく二つの山（平成22年時点で「35～39歳」「55～59歳」）を形成しています。

平成12年以降の推移をみると、この10年間でグラフの山がほぼそのまま右側に移動しています。中でも、右側の山（いわゆる団塊の世代）については、今後5～10年後には65歳以上の高齢者になることから、今後ますます高齢化が進行することが予想されます。

■年齢5歳階級別の人口の変化（国勢調査より）



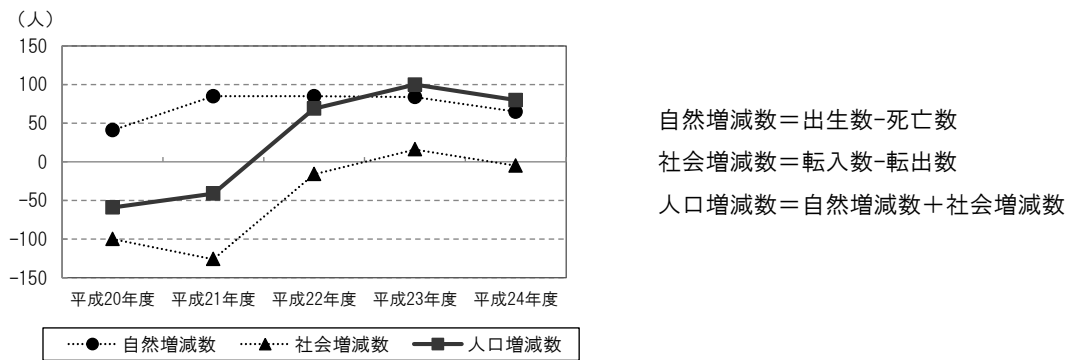
## ⑥ 人口動態

- 自然増減数はプラスで推移していますが、社会増減数は横ばいで推移しています。

住民基本台帳によると、本村の人口は平成24年度中（平成24年4月1日～平成25年3月31日まで）の1年間で80人増加しています。

人口増減数を自然増減数と社会増減数に分けると、自然増減数はプラスで推移しています。一方、社会増減数はマイナスで推移していましたが、近年は横ばいで推移しています。

■人口増減数の状況（住民基本台帳より）

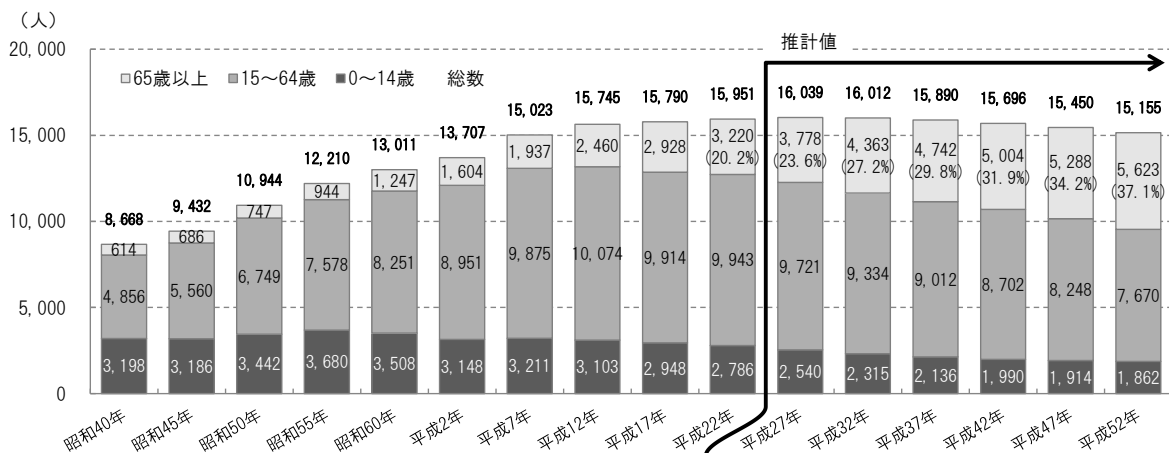


## ⑦ 将来人口推計

- 将来人口は減少することが予想されています（※アワセゴルフ場跡地の計画人口を除く）。

国立社会保障・人口問題研究所の推計値によると、本村の人口は平成27年をピークに減少に転じることが予想されています（※アワセゴルフ場跡地の計画人口を除く）。しかし、アワセゴルフ場跡地等の新たなまちづくりにより、定住人口の増加が見込まれています。

■人口の推移と将来人口推計（S40～H22は国勢調査、H27以降は国立社会保障人口問題研究所の推計値より）



※ 上記の将来人口推計では、アワセゴルフ場跡地の計画人口は考慮されていません。

⑧ 世帯類型別世帯数

- 県全体に比べ、「親族世帯」の割合は高く、「単独世帯」の占める割合は低くなっています。また、「高齢夫婦世帯」と「高齢単身世帯」の数、割合ともに年々増加しています。

平成22年国勢調査によると、本村の一般世帯総数は5,214世帯で、そのうち「親族世帯」が約8割(4,097世帯:78.6%)、「単独世帯」が約2割(1,032世帯:19.8%)を占めており、県全体に比べ親族世帯の割合は高く、単独世帯の割合は低くなっています。

また、本村の一般世帯総数5,214世帯のうち、「65歳以上世帯員がいる世帯」は1,818世帯で、一般世帯総数に占める割合は34.9%となっています。さらに、「高齢夫婦世帯」(402世帯)や「高齢単身世帯」(332世帯)が一般世帯総数に占める割合はそれぞれ7.7%、6.4%と低いものの、その数・割合ともに年々増加していることが分かります。

■世帯類型別の世帯数の推移(国勢調査より)

	平成12年		平成17年		平成22年		沖縄県(平成22年)	
	一般世帯数	構成比	一般世帯数	構成比	一般世帯数	構成比	一般世帯数	構成比
一般世帯総数	4,779	100.0%	5,089	100.0%	5,214	100.0%	519,184	100.0%
A 親族世帯	3,896	81.5%	4,054	79.7%	4,097	78.6%	359,697	69.3%
I 核家族世帯	3,296	69.0%	3,427	67.3%	3,472	66.6%	314,152	60.5%
(1) 夫婦のみの世帯	663	13.9%	785	15.4%	810	15.5%	75,038	14.5%
(2) 夫婦と子供から成る世帯	2,025	42.4%	2,029	39.9%	1,987	38.1%	172,115	33.2%
(3) 父親と子供から成る世帯	88	1.8%	111	2.2%	123	2.4%	9,764	1.9%
(4) 母親と子供から成る世帯	520	10.9%	502	9.9%	552	10.6%	57,235	11.0%
II 核家族以外の世帯	600	12.6%	627	12.3%	625	12.0%	45,545	8.8%
(5) 夫婦と両親から成る世帯	8	0.2%	13	0.3%	8	0.2%	910	0.2%
(6) 夫婦とひとり親から成る世帯	33	0.7%	54	1.1%	46	0.9%	3,532	0.7%
(7) 夫婦、子供と両親から成る世帯	75	1.6%	48	0.9%	53	1.0%	3,354	0.6%
(8) 夫婦、子供とひとり親から成る世帯	172	3.6%	154	3.0%	130	2.5%	9,442	1.8%
(9) 夫婦と他の親族(親、子供を含まない)から成る世帯	24	0.5%	23	0.5%	26	0.5%	1,749	0.3%
(10) 夫婦、子供と他の親族(親を含まない)から成る世帯	81	1.7%	84	1.7%	96	1.8%	6,848	1.3%
(11) 夫婦、親と他の親族(子供を含まない)から成る世帯	10	0.2%	7	0.1%	23	0.4%	940	0.2%
(12) 夫婦、子供、親と他の親族から成る世帯	65	1.4%	69	1.4%	61	1.2%	3,171	0.6%
(13) 兄弟姉妹のみから成る世帯	38	0.8%	55	1.1%	70	1.3%	5,913	1.1%
(14) 他に分類されない世帯	94	2.0%	120	2.4%	112	2.1%	9,686	1.9%
B 非親族を含む世帯	30	0.6%	30	0.6%	85	1.6%	6,494	1.3%
C 単独世帯	835	17.5%	1,005	19.7%	1,032	19.8%	152,589	29.4%

	平成12年		平成17年		平成22年		沖縄県(平成22年)	
	一般世帯数	構成比	一般世帯数	構成比	一般世帯数	構成比	一般世帯数	構成比
一般世帯総数	4,779	100.0%	5,089	100.0%	5,214	100.0%	519,184	100.0%
高齢世帯	1,375	28.8%	1,667	32.8%	1,818	34.9%	158,798	30.6%
高齢夫婦世帯	251	5.3%	340	6.7%	402	7.7%	33,797	6.5%
高齢単身世帯	254	5.3%	314	6.2%	332	6.4%	40,390	7.8%

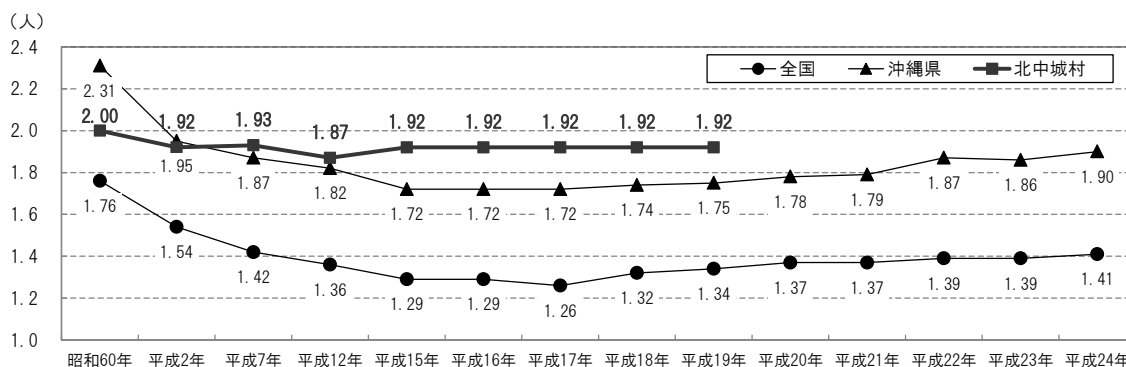
- 一般世帯数
  - ・ 住居と生計を共にしている人々の集まり又は一戸を構えて住んでいる単身者(ただし、これらの世帯と住居を共にする単身の住み込みの雇人については、人数に関係なく雇主の世帯に含めた。)
  - ・ 上記の世帯と住居を共にし、別に生計を維持している間借りの単身者又は下宿屋などに下宿している単身者
  - ・ 会社・団体・商店・官公庁などの寄宿舎、独身寮などに居住している単身者
- 親族世帯 二人以上の世帯員から成る世帯のうち、世帯主と親族関係にある世帯員のみからなる世帯
- 非親族を含む世帯 二人以上の世帯員から成る世帯のうち、世帯主と親族関係にない人がいる世帯
- 単独世帯 世帯員が一人の世帯
- 高齢単身世帯 65歳以上の人一人のみの一般世帯
- 高齢夫婦世帯 夫65歳以上、妻60歳以上の夫婦1組のみの一般世帯

### ⑨ 合計特殊出生率

- 本村の合計特殊出生率は県下 9 位。全国の人口 1 万人以上の市区町村の中では 13 番目に高い数値となっています。

厚生労働省の人口動態統計によると、本村の合計特殊出生率は平成 7 年より県・全国平均を上回る数値で推移しており、平成 15 年から平成 19 年の間、横ばいの数値 (1.92 人) となっています。これは、県内の 41 市町村中 9 番目に高い数値であり、全国の人口 1 万人以上の市区町村 (平成 19 年 12 月末現在、1464 市区町村) 中、13 番目に高い数値です。

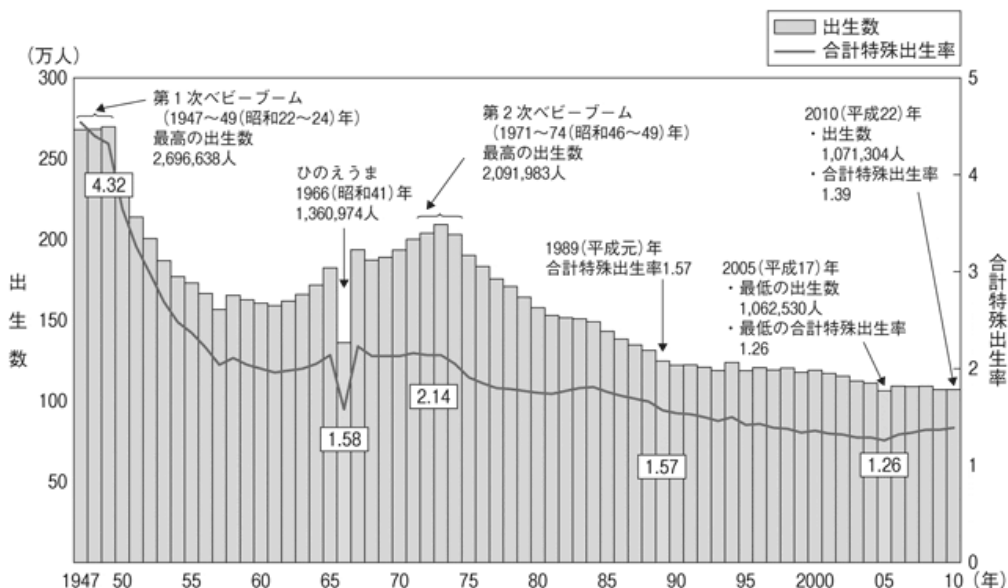
■合計特殊出生率 (人口動態統計 (厚生労働省) より)



合計特殊出生率：人口統計上の指標で、一人の女性が一生に産む子供の平均数を示す。この指標によって、異なる時代、異なる集団間の出生による人口の自然増減を比較・評価することができます。なお、平成 20 年以降の市町村別の数値は平成 26 年 2 月末現在、公表されていません。

### ＜参考：出生数及び合計特殊出生率の年次推移 (厚生労働省 人口動態統計より)＞

合計特殊出生率は、第 1 次ベビーブーム期には 4.3 を超えていましたが、1950 (昭和 25) 年以降急激に低下しています。その後、第 2 次ベビーブーム期を含め、ほぼ 2.1 台で推移していましたが、1975 年に 2.0 を下回ってから再び低下傾向となりました。1989 (平成元) 年にはそれまで最低であった 1966 (昭和 41) 年 (丙午：ひのえうま) の数値を下回る 1.57 を記録し、さらに、2005 (平成 17) 年には過去最低である 1.26 まで落ち込みました。なお、2010 年は、1.39 となっており微増傾向にあります。



## (2) 商業・経済等

## ① 就業者数の推移

- 第3次産業従事者が増加し、第1次産業・第2次産業従事者が減少しています。

平成22年国勢調査によると、本村においては第3次産業に従事する者の割合が75.4%と最も多く、次いで第2次産業(15.7%)、第1次産業(2.0%)の順となっており、県と比較すると第3次産業に従事する者の割合が高く、第1次産業に従事する者の割合が低くなっています。

また、詳しい内訳をみると、第3次産業の「その他サービス業」に従事する者が1,119人と全従事者数のうち約2割(17.9%)を占め、次いで「卸売・小売業」(15.4%)、「医療、福祉」(12.8%)、「建設業」(11.4%)と続いています。

なお、平成2年からの推移をみると、第1次産業・第2次産業従事者が年々減少し、第3次産業従事者が増加していることがわかります。

## ■産業別15歳以上の就業者数の推移(国勢調査より)

区 分	北中城村					沖縄県		
	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年		平成22年	
	人数	人数	人数	人数	人数	割合	人数	割合
総数	5,492	6,205	6,391	6,223	6,244	100.0%	578,638	100.0%
第1次産業	334	250	186	156	124	2.0%	28,713	5.0%
農業	328	241	179	152	114	1.8%	25,777	4.5%
林業	-	-	0	0	1	0.0%	204	0.0%
漁業	6	9	7	4	9	0.1%	2,732	0.5%
第2次産業	1,230	1,250	1,247	1,102	978	15.7%	81,142	14.0%
鉱業	2	-	2	3	-	0.0%	246	0.0%
建設業	873	937	975	835	711	11.4%	53,090	9.2%
製造業	355	313	270	264	267	4.3%	27,806	4.8%
第3次産業	3,912	4,690	4,912	4,920	4,706	75.4%	418,321	72.3%
電気・ガス・熱供給・水道業	28	37	36	36	38	0.6%	3,099	0.5%
情報通信業	281	339	347	115	120	1.9%	11,490	2.0%
運輸業				257	263	4.2%	28,148	4.9%
卸売・小売業	1,347	1,519	1,577	1,156	961	15.4%	86,419	14.9%
飲食店・宿泊業				455	482	7.7%	46,797	8.1%
金融・保険業	114	159	167	123	117	1.9%	11,215	1.9%
不動産業	79	65	74	74	121	1.9%	10,843	1.9%
医療・福祉	1,813	2,289	2,391	714	798	12.8%	70,223	12.1%
教育・学習支援業				381	350	5.6%	29,884	5.2%
複合サービス業				82	60	1.0%	3,831	0.7%
<u>その他サービス業</u>				1,260	1,119	17.9%	85,002	14.7%
公務	250	282	320	267	277	4.4%	31,370	5.4%
分類不能	-	-	46	45	436	7.0%	50,462	8.7%

## ② 事業所数・従業者数

- 全従業者数 3,972 人のうち、従業者数 30 人以上の事業所に従業する人が 1,573 人と全従業者数の約 40%を占めている一方、従業者数 1 人～9 人、10 人～29 人の事業所に従業する人の割合はそれぞれ 1,346 人、1,053 人と全体の約 34%、約 27%を占めています。

平成 21 年経済センサス-基礎調査によると、村内にある事業所数は 615 か所、そこに従業する従業者数は 3,972 人となっています。

従業者規模別の内訳をみると、従業者数 30 人以上の事業所は 25 か所と全事業所数の 4%しか占めていませんが、そこに従事する従業者は 1,573 人と全従業者のうち約 40%を占めています。

一方、比較的小規模である従業者数 1～9 人の事業所は 518 か所と全事業所数の約 84%を占め、そこに従業する従業者は 1,346 人と全体の約 34%を占めています。また、従業者数 10～29 人の事業所は 71 か所と全事業所数の約 12%を占め、そこに従業する従業者は 1,053 人と全体の約 27%を占めていることが分かります。

各種疾患の多さ等の健康上の課題は、40～50 歳代のいわゆる「働き盛り」世代に多くあるといわれているため、今後は各事業所ごとの「健康づくり」への取り組みが重要となってきますが、その中でも全事業所数の約 96%を占める従業者数 1～29 人の比較的小規模である事業所の従業者に対する「健康づくり」の働きかけの方法を十分に検討することが重要だと言えます。

■従業者規模別事業所数及び従業者数（平成 21 年経済センサス-基礎調査より）

	総 数		1人～4人		5人～9人		10人～19人		20人～29人		30人以上	
	事業所数	従業者数	事業所数	従業者数	事業所数	従業者数	事業所数	従業者数	事業所数	従業者数	事業所数	従業者数
全産業	615	3,972	431	793	87	553	58	760	13	293	25	1,573
第1次産業	1	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-
農業・林業	1	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-
第2次産業	80	775	41	98	12	78	17	220	6	141	4	238
鉱業・採石業・砂利採取業	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
建設業	64	711	27	65	11	69	17	220	5	119	4	238
製造業	16	64	14	33	1	9	-	-	1	22	-	-
第3次産業	534	3,196	389	694	75	475	41	540	7	152	21	1,335
電気・ガス・熱供給・水道業	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
情報通信業	2	6	2	6	-	-	-	-	-	-	-	-
運輸業・郵便業	22	133	18	20	2	15	1	15	-	-	1	83
卸売業・小売業	140	574	110	217	14	88	12	150	1	25	2	94
金融業・保険業	10	55	6	12	1	9	3	34	-	-	-	-
不動産業・物品賃貸業	105	247	93	124	10	60	1	12	-	-	1	51
学術研究・専門・技術サービス	22	125	16	32	3	21	1	11	1	24	1	37
宿泊業・飲食サービス	61	524	26	65	19	117	10	128	-	-	6	214
生活関連サービス業・娯楽業	53	185	44	71	6	42	1	16	1	20	1	36
教育・学習支援業	26	117	19	24	3	20	3	41	-	-	1	32
医療・福祉	32	959	9	25	9	54	5	72	1	20	8	788
複合サービス業	5	36	3	9	1	6	-	-	1	21	-	-
サービス業（他に分類されないもの）	56	235	43	89	7	43	4	61	2	42	-	-

事業所：農林漁家に属する個人経営の事業所、家事サービス業及び外国公務に属する事業所を除くすべての事業所及び企業。

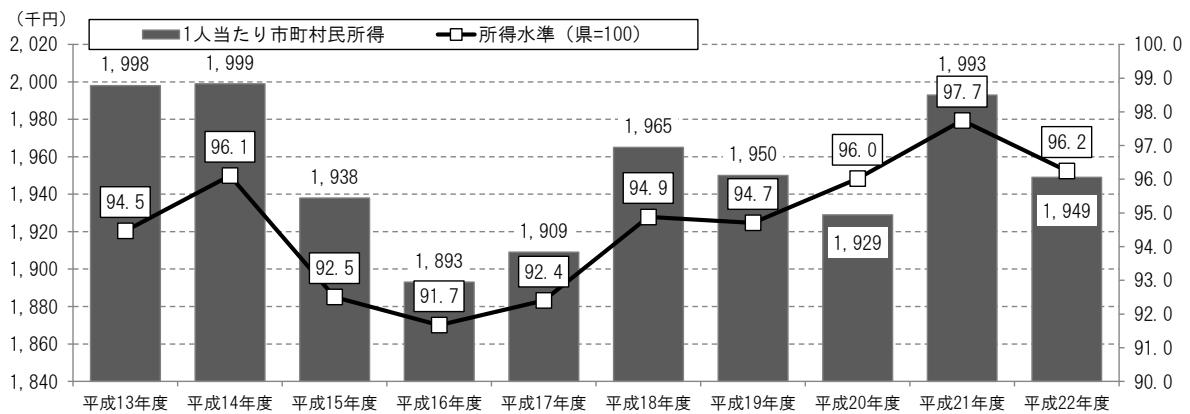


③ 村民所得

➤ 1人当たりの村民所得 1,948 千円で、県平均の所得水準を下回っています。

沖縄県市町村村民所得（沖縄県企画部統計課）によると、平成 22 年度の本村の 1人当たりの村民所得は 1,949 千円で、過去 10 年間の所得水準の推移をみると、平成 22 年度においては減少しているものの、平成 16 年度以降は、ほぼ毎年増加している状況であることが分かりますが、依然として、県平均の所得水準を下回っています。

■1人当たり村民所得（平成 22 年度沖縄県市町村村民所得（沖縄県企画部統計課）より）

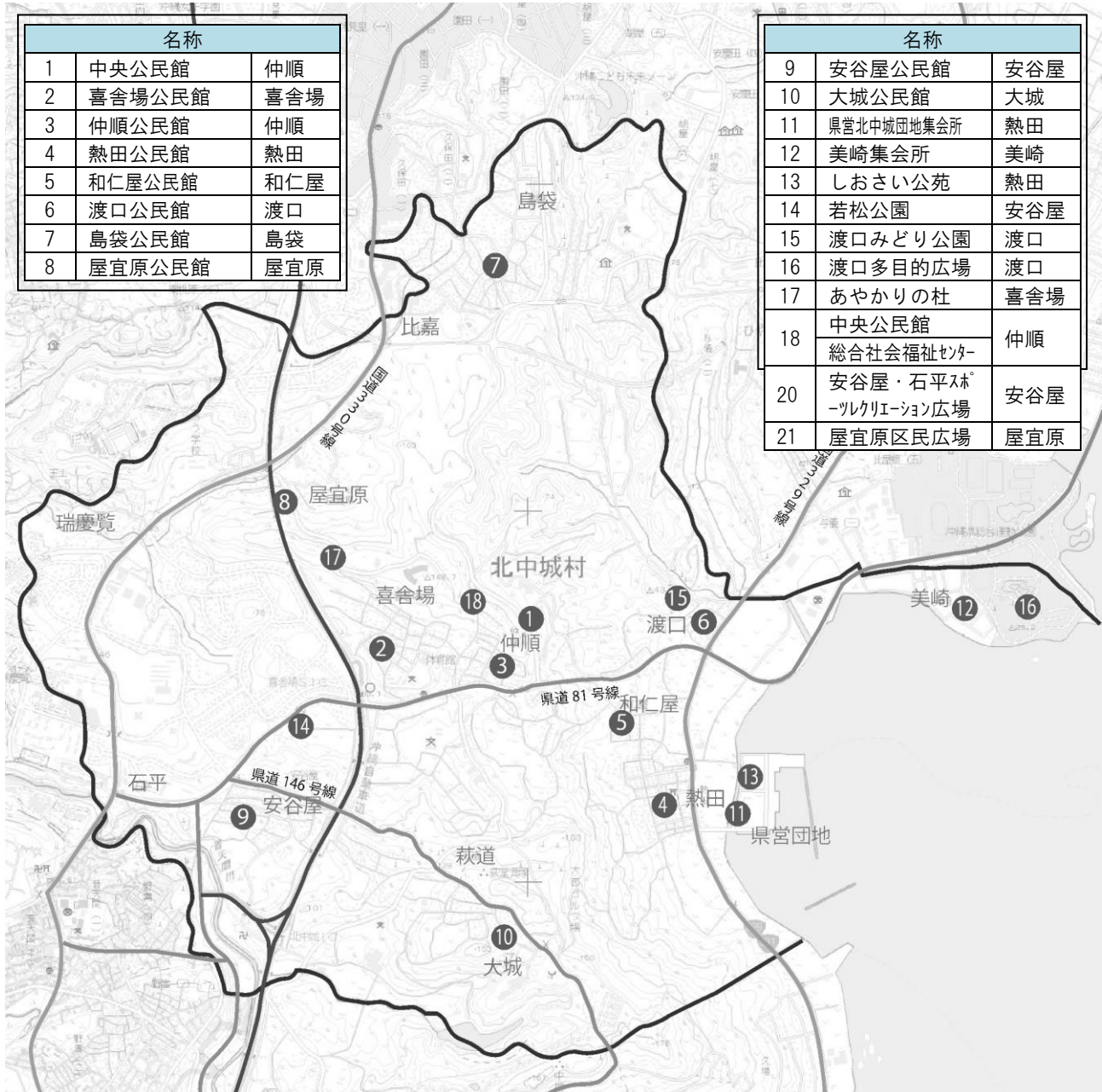


### (3) 健康づくり活動拠点の立地状況

- ▶ 村内には、様々な健康づくり活動拠点が立地しています。

本村内の健康づくり活動拠点の立地状況をみると、公民館や集会所をはじめとして、各字の集落内または集落に隣接して配置されています。

■健康づくり関連活動拠点（平成23年策定「第三次北中城村地域福祉計画」より）



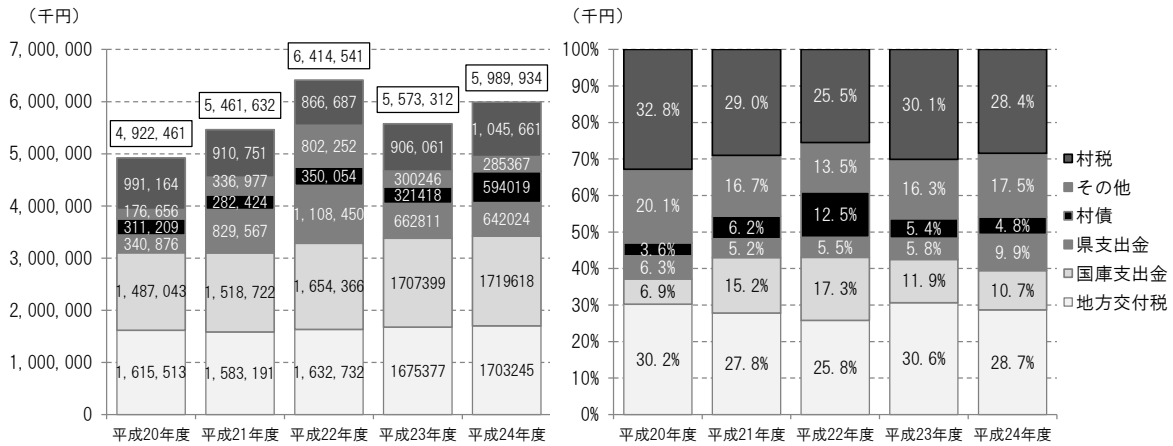
## (4) 財政の状況

### ① 歳入・歳出

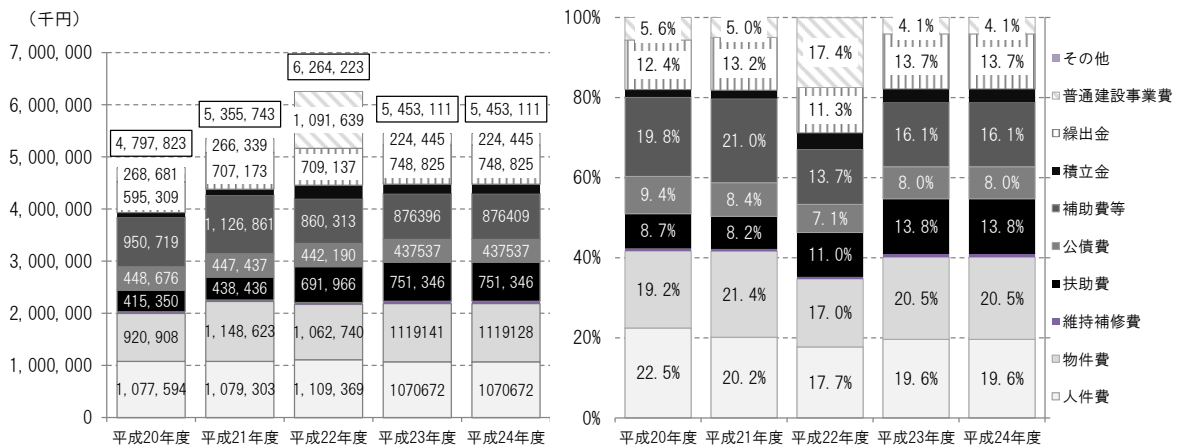
#### ➤ 扶助費の割合が大きくなっています。

本村の一般会計（歳出）に占める扶助費（社会保障制度の一環として、生活困窮者、高齢者、児童、心身障害者等に対して行っている様々な支援に要する経費）の割合は平成24年度13.8%で、平成20年度に比べ1.6倍以上に増加しています。

#### ■一般会計（歳入）の決算額（村企画開発課資料より）



#### ■一般会計（歳出）の決算額（村企画開発課資料より）



## (5) 庁内各課や村内各団体等の取り組み状況

### ① 近年のまちづくり

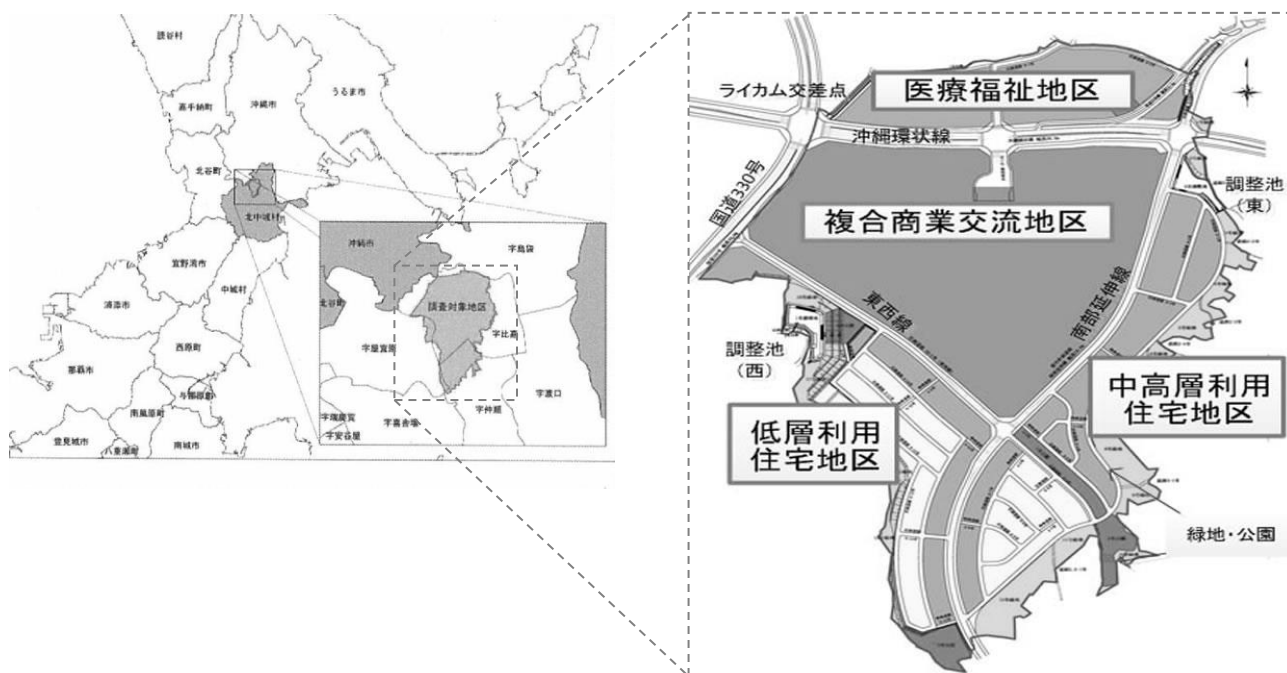
- アワセゴルフ場跡地において、「健康づくり」を包含した新しいまちづくりが進められています。

平成22年7月に返還されたアワセゴルフ場跡地内においては、広域交流拠点の核となる大規模商業施設や地域医療の中核となる医療福祉施設の整備等が予定されており、現在、各建設作業が進められています。

また、数年後には村民の運動の場として跡地内に「サブアリーナ」の建設が計画されています。

跡地内の新しいまちづくりにおいては、運動の場の提供等による村民の健康状態の向上を目指すことも必要であるといえるため、今後は「健康長寿のまちづくり」計画と連動しての、同跡地内の特色あるまちづくりが求められています。

■アワセゴルフ場跡地の位置と土地利用計画図（村建設課資料より）



## ② 健康長寿にかかる各課の取り組み

- 本村では、村民の「健康づくり」を目的とし、生きがいくくり、食育、運動の機会の提供等、各種の取り組みを行っていますが、今後さらに多くの関連事業等の実施が求められています。

現在、役場各課において各世代を対象とした各種スポーツ大会をはじめ、講座の開催等、各種「健康づくり」関連の取り組みを行われていますが、幅を広げて考えてみると、次に挙げる取り組み以外のさらに多くの各事業が「健康づくり」に結びついているといえます。（例：建設課の遊歩道整備《「歩ける」まちづくり》など）

今後は広い意味での「健康づくり」を目指し、各課連携しての各種事業実施を行っていく予定です。

## ■平成25年度 役場各課の「健康づくり」関連の取り組み

担当課	名称等	取り組み内容	生きがいくくり	食育	運動	その他
教育総務課	ちむあぐみ塾（公民館塾）	本村の学力向上対策推進を更に図るため、特に各地域における子ども達を中心に、各地域に根ざした子ども居場所づくりの充実や公民館の活性化などを図る。				○
生涯学習課	小中学生対象の各種スポーツ大会の実施	村内小中学生の健全育成や技術力の向上、児童生徒間相互の親睦を深めることなどを目的とし、各種スポーツ大会を実施。 毎年、ミニバスケットボール、バスケットボール、グラウンドゴルフ、キックベースボール、野球、サッカー等の大会を行っている。			○	
〃	学校プール解放事業	夏休み期間中において学校プールを地域の児童に開放することによって、水に慣れ親しむとともに泳ぐ機会を多く持ち、水泳の楽しさを満喫する。			○	
〃	北中城村児童生徒の県外派遣に関する補助事業	北中城村の児童生徒の運動競技及び文化活動等の県外派遣について航空運賃及び宿泊費等を補助する。				○
	村民新春マラソン大会	日常生活の中での走る喜びを身をもって経験し、村民一人ひとりが健康で活気に満ちた生活が送れるようになることを目的をして、年一回実施。			○	
	ふれあいグラウンドゴルフ大会	参加者の心身のリフレッシュ等を目的として、村内に住所を有する者のうち、男子35歳以上、女子30歳以上（共に原則として60歳まで）を対象としたグラウンドゴルフ大会を年に一度行う。	○		○	
	ノルディックウォーキング大会	小学生以上の村内在住者を対象に、ノルディックウォーキング大会を開催。（生涯学習課主催の「生涯学習発表会」と同時開催）				

担当課	名称等	取り組み内容	生きがいづくり	食育	運動	その他
生涯学習課	各スポーツ関連団体の活動	村内における各スポーツの普及、振興、精神の高揚等を図るため、「北中城村体育協会補助団体」「北中城村スポーツ推進委員協議会」「北中城村ゲートボール審判員協会補助団体」等の団体が各種活動を行っている。	○		○	
〃	各体育施設等の一般開放	体育に関する施設を一般公衆の利用に供することにより、村民の体力向上と文化の発展を図る。			○	○
〃	(子ども対象の)各種教室の開催	(村内在住の)小学生以上対象の「子ども三線教室」、中高校生対象の「ストリートダンス教室」など、各種教室を開催。			○	○
〃	親子体験教室の開催	親子でふれあい、楽しむことを目的に開催(平成25年度は「お菓子作り体験教室」を開催)。	○	○		
〃	(村内在住・在職者対象の)各種講座の開催	村内在住・在職者を対象に、カラーコーディネート、メイクアップ、ボディメイク(理想のボディライン作り)、ジェルネイル、バルーンアート、ガーデニング、パソコン入門、料理講習、沖縄のしきたり等を学ぶ講座等、各種講座を開催する。	○			○
〃	高齢者学級	集団学習を通して多くの人々と交流し、健康の維持増進を図りつつ、さらなる生きがいを見いだす機会とする。月1回、全5回講座。	○		○	
〃	各種「中央公民館サークル」活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・北中城村女声合唱団</li> <li>・コール・デンファール</li> <li>・ペン字サークル「ゼブラ」</li> <li>・自彊術サークル</li> <li>・パステルアートサークル</li> <li>・タヒチアンダンスサークル</li> <li>・琉球史の文献を読む会</li> <li>・北中城ギターサークル</li> <li>・詩吟サークル</li> <li>・琉舞サークル</li> <li>・ヨーガサークル「シヤンティ」</li> <li>・夢海渡太鼓演武団サークル</li> <li>・健身按摩功サークル</li> <li>・俳句サークル「道」</li> <li>・北中城村ふるさとガイド会</li> <li>・ズンバサークル</li> <li>・清線サークル</li> <li>・フラサークル「プアプア」</li> <li>・北中城フォークダンス友の会</li> <li>・琉球民謡サークル</li> <li>・フラサークル「アロアロ」</li> <li>・ストリートダンスサークル</li> <li>・カメハメハ・ウクレレ</li> <li>・琉球音楽太鼓サークル</li> <li>・北中城村子どもサンシンサークル</li> </ul> などの各種サークルあり(平成26年3月現在)。				○
福祉課	ぬちぐすい長寿大学	運動機能向上：いきいき長寿学部、がんじゅう長寿学部、さらばんじ長寿学部 認知症予防：じんぶん長寿学部	○		○	

担当課	名称等	取り組み内容	生きが いづく り	食 育	運 動	そ の 他
福祉課	ぬちぐすい予備校	健康長寿を学ぶ高齢者のための予備校（通所サービス） 愛の見守り支援サービス、軽度家事援助サービス、買い物支援サービス、栄養満点給食サービス	○	○	○	○
〃	ミス（美寿）きたなかぐすく	「ミスがんにゅう」「ミスさらばんじ」「ミスちむぢゆらさ」に選ばれた3人が、様々なイベントや公式行事などに参加するとともに、健康長寿親善大使としてPR活動や交流を行い、元気な笑顔で健康長寿村・北中城村を発信する。	○			○
〃	ぬちぐすい長寿大学自治会ゼミ	自治会単位の介護予防サークル。自治会が主体となり、サークルの計画立案から事業運営までを担う。 平成25年度までに11自治会が地域特性を活かした介護予防活動（琉球舞踊、体操、グラウンドゴルフ等）を実施している。	○		○	○
〃	保育所における食育活動	季節や行事に合わせたメニューの提供や、保育所で栽培した野菜、地元の食材を使った給食やおやつを提供などを通し、保育所入所児童の「食を営む力」の育成を図る。		○		
〃	子育て支援センターにおける食育活動	乳幼児の保護者を対象にして、調理講習、栄養相談等を実施し、食育の啓発を行う。		○		
健康保険課	こんにちは赤ちゃん事業	出生後おおむね1ヵ月以内の赤ちゃんのいるお宅を母子推進員が訪問し、各種相談等を行う。				○
〃	（乳幼児対象の）各種健診の実施	「乳児一般健診」、「1歳6ヵ月児健診」、「3歳6ヵ月児健診」、「（1歳・2歳6ヵ月児対象の）歯科健診」等、乳幼児対象の各種健診を実施する。				○
〃	離乳食実習	出生後おおむね3ヵ月～6ヵ月児の保護者対象。平成25年度は年4回実施。		○		
〃	（成人対象の）各種健診の実施	20～39歳対象の「村民健診」、40～74歳の国保加入者対象の「特定健診」、75歳以上対象の「長寿健康診査」、20歳以上の女性対象の「婦人健診」等、村民対象の各種健診を実施する。				○
〃	「人間ドック・脳ドック」の実施	40歳以上の村民を対象に、人間ドック・脳ドックの費用助成を行う。				○
〃	「がん検診（胃・大腸・肺レントゲン）」の実施	20歳以上の村民対象に、各種がん検診の費用助成を行う。				○
〃	「骨粗しょう症検査」の実施	20歳以上の女性を対象に、骨粗しょう症検査を実施する。				○

---

### ③ 関連団体等

---

➤ 自治会での活動をはじめ、各団体の取り組みが活発に行われています。

本村には現在、14 自治会（喜舎場・仲順・熱田・和仁屋・渡口・島袋・屋宜原・瑞慶覧・石平・安谷屋・荻道・大城・県営団地・美崎）があり、各自治会ごとに様々な特色ある活動を行っています。

また、全 14 自治会のうち子ども会 14 団体、青年会 11 団体（喜舎場・仲順・熱田・和仁屋・渡口・島袋・屋宜原・瑞慶覧・石平・安谷屋・荻道・大城・県営団地・美崎）、老人クラブ 11 団体（喜舎場・仲順・熱田・和仁屋・渡口・島袋・屋宜原・瑞慶覧・石平・安谷屋・荻道・大城・県営団地・美崎 ※瑞慶覧は平成 25 年度現在休会中）、婦人会 6 団体（喜舎場、仲順、熱田、和仁屋、渡口、大城）があり、各種事業や各種村内イベント等への参加など、年間を通して様々な活動を行っています。

また、村内各企業・団体のうち個人会員を含む 327 会員（平成 26 年 2 月末現在）が商工会に加入し、村内の経済活性化に向けての活動や個々の経営基盤の強化に向けての取り組みなどを行っています。

今後、役場と各団体とが連携しての「健康づくり」関連事業の実施を行っていきます。



## 2. 健康に係るデータの状況

### (1) 平均寿命の推移

#### ① 平均寿命の推移

##### <平均寿命>

- 本村は平成17年と平成22年の二期連続で、女性の平均寿命日本一地域となっています。一方で、女性の平均寿命の数値そのものは、やや短くなっています。

本村の女性の平均寿命は89.0歳で全国1位（平成22年、厚生労働省発表）となっていますが、同じく平成17年発表の89.3歳と比べ、やや短くなっています。

また、男性の平均寿命は平成17年78.9歳、平成22年80.2歳と延伸傾向にあり、平成22年の数値は県内順位は4位となっています。

なお、平成22年の男性の平均寿命県内1位の南風原町は平均寿命81.9歳で、全国順位では5位となっています。

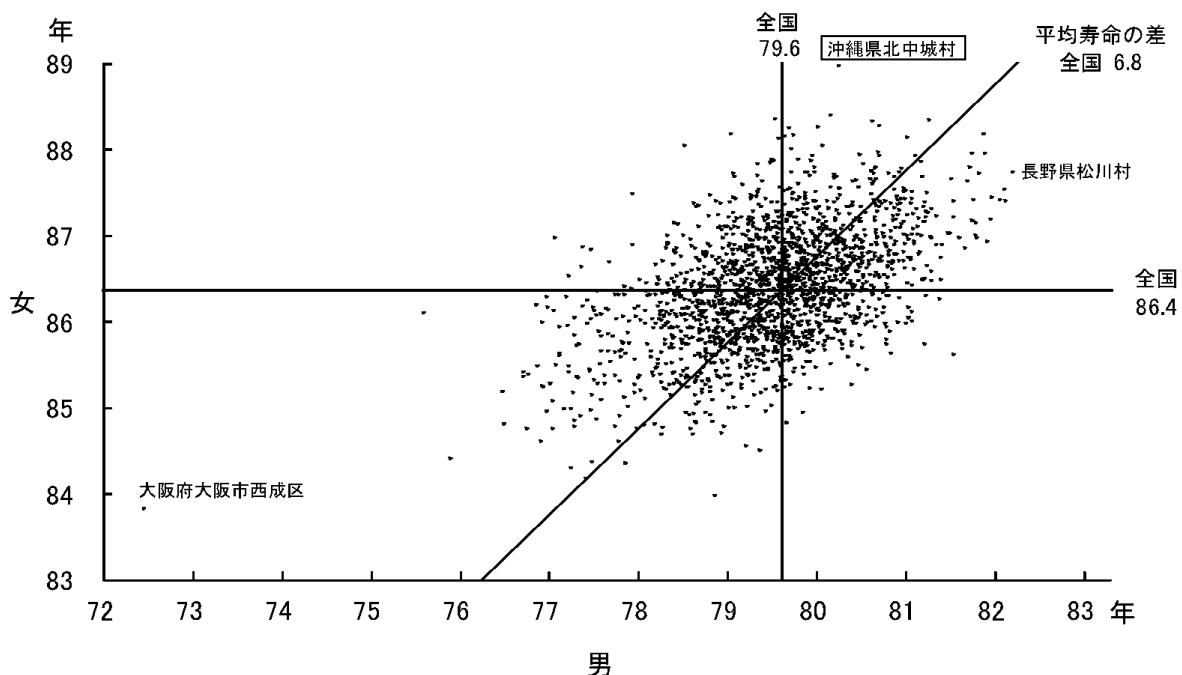
##### <平均寿命の男女比較>

- 本村の平均寿命の男女差は8.8歳で、全国平均よりも男女差が大きくなっています。

平成22年の全国平均寿命は男性79.6歳、女性86.4歳で、男女間の平均寿命の差は6.8歳となっていますが、本村は男女の平均寿命の差が8.8歳となっており、男女間の平均寿命の差が全国平均よりも大きくなっていることが分かります。

なお、男女間の平均寿命の差が最も大きいのは大阪府大阪市西成区（11.4歳）で、最も小さいのは奈良県川西町（4.1歳）です。

■平均寿命の男女差（厚生労働省・平成22年市区町村別生命表より）



■県内市町村の平均寿命の推移（厚生労働省・平成22年市区町村別生命表より）

男 性					
平成17年度			平成22年度		
市町村	年齢	順位	市町村	年齢	順位
豊見城市	79.9	1	南風原町	81.9	1
南城市	79.9	2	西原町	80.5	2
北谷町	79.7	3	南城市	80.3	3
南風原町	79.6	4	北中城村	80.2	4
浦添市	79.5	5	宜野湾市	80.1	5
西原町	79.4	6	名護市	80.1	6
宜野湾市	79.2	7	豊見城市	80.0	7
北大東村	79.0	8	金武町	80.0	8
北中城村	78.9	9	与那原町	80.0	9
中城村	78.9	10	恩納村	79.9	10
与那原町	78.9	11	宜野座村	79.9	11
久米島町	78.9	12	八重瀬町	79.9	12
八重瀬町	78.9	13	うるま市	79.8	13
名護市	78.8	14	北谷町	79.8	14
伊江村	78.8	15	大宜味村	79.7	15
渡嘉敷村	78.8	16	伊江村	79.7	16
座間味村	78.8	17	中城村	79.7	17
南大東村	78.8	18	南大東村	79.7	18
竹富町	78.8	19	竹富町	79.7	19
沖縄県	78.8	—	浦添市	79.6	20
全国	78.8	—	伊是名村	79.6	21
読谷村	78.7	20	全国	79.6	—
粟国村	78.6	21	読谷村	79.5	22
糸満市	78.5	22	伊平屋村	79.5	23
国頭村	78.5	23	渡名喜村	79.4	24
伊平屋村	78.5	24	久米島町	79.4	25
多良間村	78.5	25	沖縄県	79.4	—
与那国町	78.5	26	北大東村	79.3	26
那覇市	78.4	27	東村	79.2	27
大宜味村	78.3	28	与那国町	79.2	28
東村	78.3	29	本部町	79.1	29
恩納村	78.3	30	石垣市	79.0	30
渡名喜村	78.3	31	渡嘉敷村	79.0	31
石垣市	78.2	32	多良間村	79.0	32
沖縄市	78.2	33	那覇市	78.9	33
宮古島市	78.2	34	沖縄市	78.9	34
今帰仁村	78.2	35	座間味村	78.9	35
伊是名村	78.2	36	粟国村	78.9	36
本部町	78.0	37	今帰仁村	78.8	37
嘉手納町	78.0	38	糸満市	78.5	38
うるま市	77.9	39	嘉手納町	78.5	39
金武町	77.6	40	国頭村	78.4	40
宜野座村	77.0	41	宮古島市	78.0	41

女 性					
平成17年度			平成22年度		
市町村	年齢	順位	市町村	年齢	順位
北中城村	89.3	1	北中城村	89.0	1
豊見城市	88.5	2	豊見城市	88.3	2
南城市	88.3	3	中城村	88.3	3
北谷町	87.8	4	竹富町	88.2	4
南風原町	87.7	5	嘉手納町	88.1	5
中城村	87.7	6	伊平屋村	88.1	6
今帰仁村	87.7	7	読谷村	87.8	7
西原町	87.6	8	西原町	87.8	8
久米島町	87.5	9	石垣市	87.7	9
伊是名村	87.4	10	北谷町	87.7	10
本部町	87.4	11	与那原町	87.5	11
渡嘉敷村	87.3	12	宜野湾市	87.4	12
金武町	87.2	13	南風原町	87.4	13
北大東村	87.1	14	大宜味村	87.3	14
伊江村	87.1	15	渡名喜村	87.3	15
座間味村	87.1	16	うるま市	87.2	16
南大東村	87.1	17	国頭村	87.2	17
伊平屋村	87.1	18	今帰仁村	87.2	18
うるま市	87.1	19	本部町	87.2	19
八重瀬町	87.0	20	久米島町	87.2	20
粟国村	87.0	21	渡嘉敷村	87.1	21
浦添市	86.9	22	粟国村	87.1	22
名護市	86.9	23	南大東村	87.0	23
嘉手納町	86.9	24	北大東村	87.0	24
沖縄県	86.9	—	与那国町	87.0	25
宜野座村	86.8	25	沖縄県	87.0	—
糸満市	86.7	26	名護市	86.9	26
渡名喜村	86.7	27	南城市	86.8	27
与那原町	86.6	28	東村	86.8	28
国頭村	86.6	29	伊江村	86.8	29
恩納村	86.6	30	八重瀬町	86.8	30
石垣市	86.6	31	多良間村	86.8	31
宮古島市	86.6	32	那覇市	86.7	32
読谷村	86.5	33	座間味村	86.7	33
多良間村	86.5	34	伊是名村	86.7	34
与那国町	86.5	35	沖縄市	86.5	35
竹富町	86.4	36	全国	86.4	—
那覇市	86.4	37	糸満市	86.3	36
大宜味村	86.4	38	浦添市	86.2	37
東村	86.4	39	宮古島市	86.2	38
宜野湾市	86.0	40	恩納村	86.2	39
全国	86.8	—	宜野座村	86.2	40
沖縄市	85.6	41	金武町	86.0	41

## (2) 国民健康保険の状況

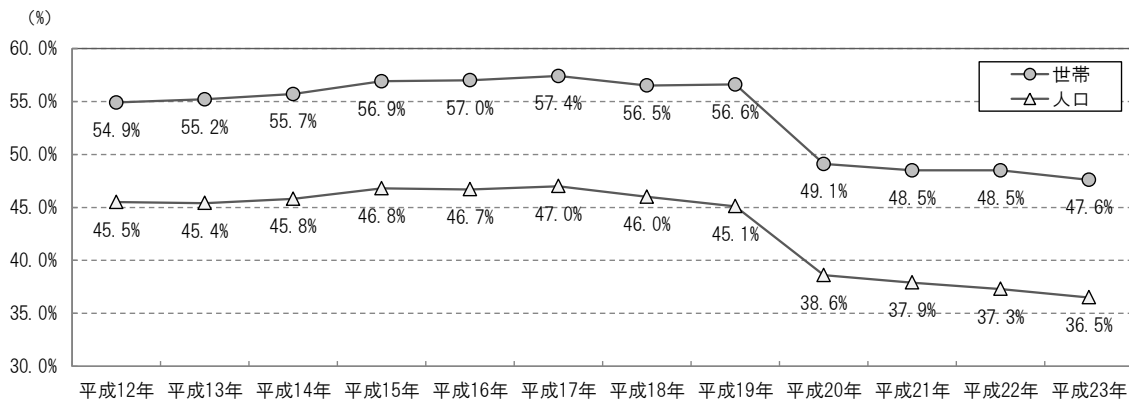
### ① 加入率の推移

- 国民健康保険の加入率は47.6%で。県全体の35.5%よりも多くなっています。

国民健康保険の被保険者数は近年6,000人弱で推移しており、平成23年度時点で2,996世帯(6,020人)、加入率は47.6%(36.5%)となっています。

なお、県全体の加入率は35.5%となっていることから、本村は国民健康保険に加入している世帯が多いことがうかがえます。

■国民健康保険被保険者数の推移(村健康保険課資料より)

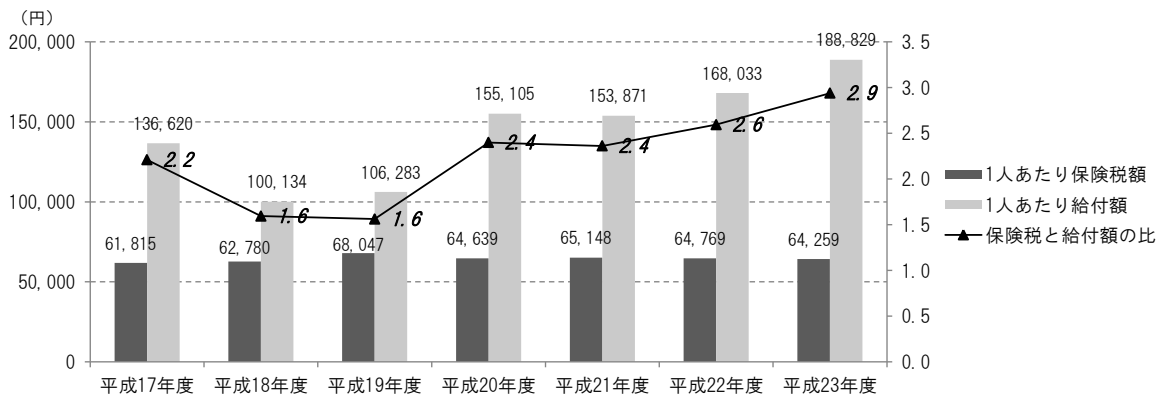


### ② 保険税(料)の状況

- 保険税(料)と給付額の収支バランスが大きく崩れています。

本村の一人当たり保険税(料)調定額は64,259円となっており(平成23年度)、県平均に比べ高くなっています(県平均58,822円)。一方、一人あたりの給付額は188,829円となっています。医療費の増加に伴い課税額も増加しなければ収支のバランスが崩れてしまうのですが、年々この差が開いていっています。

■国民健康保険1人当たり保険税額と給付額の推移(村健康保険課資料より)



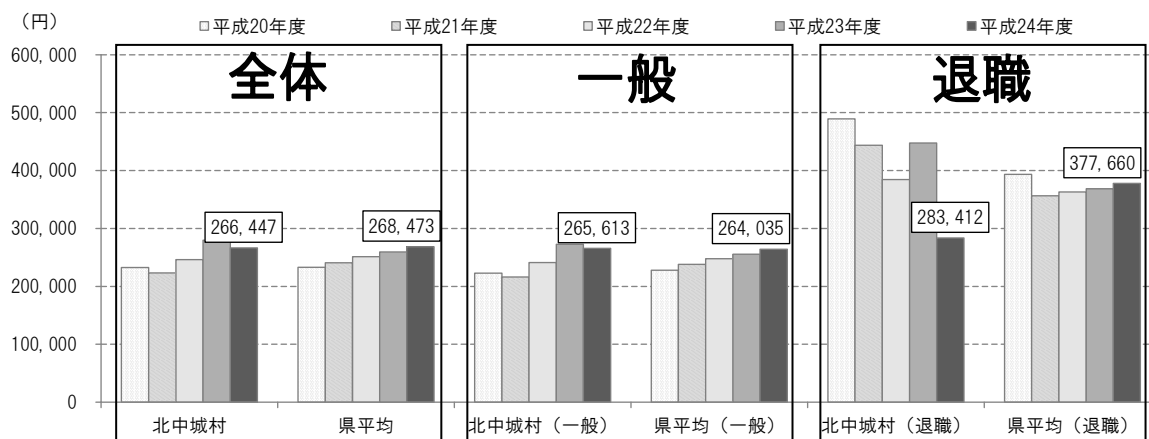
### (3) 医療費の推移

#### ① 療養諸費の推移

- 1人当たりの療養諸費は増加傾向にあります。

本村の1人当たりの療養諸費は増加傾向にあり、平成24年度は266,447円となっています。

■療養諸費の推移（沖縄県国民健康保険団体連合会資料より）



退職：市町村が行う国民健康保険の被保険者のうち、厚生年金や各種共済組合などの受給権を有し、その加入期間が20年（20年未満の場合には、政令で定める期間）以上あるか、または、40歳以上の加入期間が10年以上である者およびその被扶養者をいう。

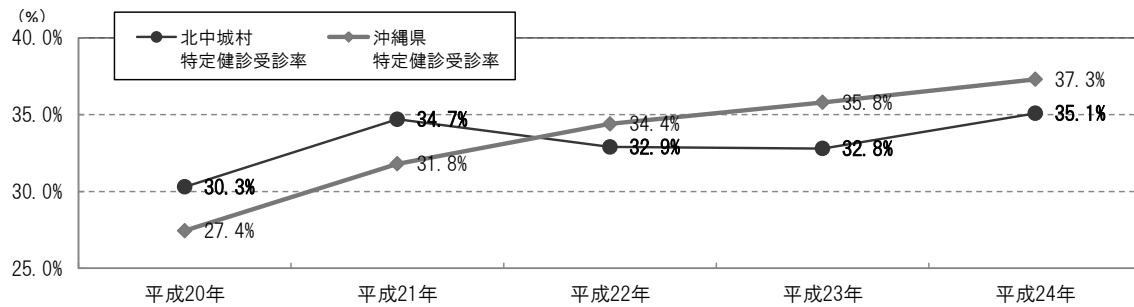
一般：上記以外

#### (4) 特定健康診査・特定保健指導の状況

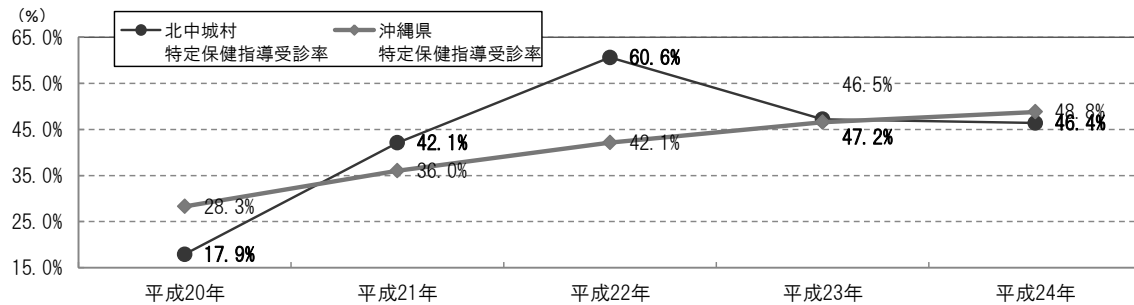
- 特定健診・特定保健指導の受診率は、ともに県平均を下回っています。

特定健康診査（特定健診）の受診率は35.1%、特定保健指導の受診率は46.4%となっており（いずれも、平成24年度）、近年は県平均を下回っています。

##### ■ 特定健診受診率の状況（沖縄県国民健康保険団体連合会資料より）



##### ■ 特定保健指導受診率の状況（沖縄県国民健康保険団体連合会資料より）



■特定健康診査受診率の年次推移（沖縄県国民健康保険団体連合会資料より）

NO	平成20年度			平成21年度			平成22年度			平成23年度			平成24年度			平成25年度				
	市町村	対象者数	受診者数	市町村	対象者数	受診者数	市町村	対象者数	受診者数	市町村	対象者数	受診者数	市町村	対象者数	受診者数	市町村	受診率			
1	北大東村	118	69	58.5	竹富町	1,011	626	62.1	多良間村	370	234	63.4	座間味村	112	71	63.4	座間味村	258	170	65.9
2	多良間村	375	218	58.1	多良間村	381	231	60.6	東郷村	543	335	61.7	多良間村	356	220	61.8	北大東村	110	72	65.5
3	竹富町	1,019	547	53.7	与那国町	378	224	59.3	南大東村	253	150	59.3	南大東村	329	201	61.1	南大東村	338	213	62.8
4	南大東村	365	193	52.9	座間味村	250	144	57.6	南大東村	336	198	58.9	東郷村	523	314	60.0	竹富町	1,036	613	59.2
5	座間味村	253	130	51.4	東郷村	546	305	55.9	竹富町	1,001	584	58.3	竹富町	985	591	60.0	大宜味村	843	496	58.8
6	与那国町	383	196	51.2	北大東村	1,101	611	55.5	与那国町	371	214	57.7	座間味村	257	151	58.8	与那国町	359	210	58.5
7	国頭村	1,280	640	50.0	国頭村	1,277	701	54.9	北大東村	1,111	63	56.8	多良間村	875	509	58.2	多良間村	354	201	56.8
8	東郷村	558	271	48.6	南大東村	344	186	54.1	国頭村	1,226	646	52.7	与那国町	372	212	57.0	東郷村	535	291	54.4
9	大宜味村	936	425	45.4	伊平屋村	331	179	54.1	伊平屋村	327	171	52.3	宜野座村	1,167	632	54.2	宜野座村	1,180	624	52.9
10	宜野座村	1,093	476	43.7	渡嘉敷村	152	75	49.3	宜野座村	1,137	560	49.3	国頭村	1,219	656	53.8	国頭村	1,223	639	52.2
11	伊江村	1,633	882	54.0	大宜味村	929	447	48.1	大宜味村	889	418	47.0	渡嘉敷村	142	74	52.1	伊是名村	339	175	51.6
12	伊平屋村	348	145	41.7	伊江村	1,124	505	44.9	伊平屋村	1,24	56	45.2	伊平屋村	318	162	50.9	伊平屋村	316	160	50.6
13	渡嘉敷村	2,306	956	41.5	宜野座村	1,124	505	44.9	伊平屋村	1,556	694	44.6	南風原町	5,673	2,697	47.5	渡嘉敷村	118	56	47.5
14	恩納村	1,29	51	39.5	恩納村	2,928	1,034	35.3	伊是名村	2,347	1,045	44.5	渡嘉敷村	334	158	47.3	渡嘉敷村	136	64	47.1
15	今帰仁村	2,377	923	38.8	渡嘉敷村	125	53	42.4	恩納村	2,348	1,042	44.4	伊江村	1,550	730	47.1	久米島町	2,097	981	46.8
16	粟国村	165	63	38.2	南城市	8,233	3,437	41.7	渡嘉敷村	151	66	43.7	渡嘉敷村	118	55	46.6	恩納村	2,341	1,074	45.9
17	渡嘉敷村	158	60	38.0	久米島町	2,136	857	40.1	南城市	8,288	3,510	42.5	南城市	8,280	3,738	45.1	石垣市	9,620	4,377	45.5
18	石垣市	9,721	3,606	37.1	石垣市	9,647	3,820	39.6	南風原町	5,543	2,336	42.1	恩納村	2,326	1,030	44.3	南城市	8,172	3,717	45.5
19	南城市	8,162	2,970	36.4	今帰仁村	2,354	932	39.6	今帰仁村	2,381	1,005	42.0	南風原町	5,723	2,568	44.9	宜野座村	7,968	3,402	42.7
20	久米島町	2,192	771	35.2	西原町	5,676	2,100	37.0	久米島町	2,081	803	38.6	金武町	2,854	1,071	41.9	伊江村	1,529	650	42.5
21	南風原町	5,574	1,954	35.1	嘉手納町	3,049	1,097	36.0	伊是名村	364	139	38.2	石垣市	9,704	4,021	41.4	伊江村	1,529	650	42.5
22	嘉手納町	3,096	1,023	33.0	南風原町	5,669	2,036	35.9	読谷村	8,030	2,995	37.3	読谷村	8,003	3,289	41.1	今帰仁村	2,404	1,015	42.2
23	名護市	10,976	3,621	33.0	金武町	2,582	914	35.4	名護市	11,010	4,094	37.2	久米島町	2,076	853	41.1	粟国村	162	63	41.4
24	読谷村	7,952	2,511	31.6	中城村	3,114	1,090	35.0	西原町	5,789	2,147	37.1	名護市	11,193	4,315	38.6	与那原町	2,916	1,201	41.2
25	全	22,550,174	6,942,838	30.8	北中城村	3,252	1,130	34.7	宮古島市	11,801	4,371	37.0	宮古島市	11,896	4,481	37.7	金武町	2,598	1,041	40.1
26	伊是名村	388	119	30.7	名護市	10,963	3,787	34.5	金武町	2,530	930	36.8	西原町	5,920	2,211	37.3	本部町	3,046	1,185	38.9
27	北中城村	3,256	987	30.3	伊是名村	369	123	33.3	嘉手納町	2,973	1,056	35.5	与那原町	2,883	1,072	37.2	那覇市	54,560	20,575	37.7
28	宮古島市	12,015	3,593	29.9	宮古島市	11,850	3,895	32.9	浦添市	17,995	6,282	34.9	那覇市	54,777	19,598	35.8	西原町	5,944	2,239	37.7
29	金武町	2,611	760	29.1	読谷村	7,979	2,514	31.5	那覇市	54,819	19,069	34.8	本部町	3,125	1,118	35.8	宮古島市	11,769	4,425	37.6
30	本部町	3,122	886	28.4	八重瀬町	4,997	1,610	32.2	糸満市	10,099	3,500	34.7	沖	262,563	94,058	35.8	八重瀬町	5,084	1,905	37.5
31	西原町	5,665	1,600	28.2	粟国村	166	53	31.9	沖	261,469	89,899	34.4	糸満市	10,122	3,591	35.5	名護市	11,085	4,136	37.3
32	沖	262,988	72,184	27.4	沖	262,058	83,424	31.8	八重瀬町	5,030	1,686	33.5	嘉手納町	2,911	1,032	35.5	沖	262,298	97,829	37.3
33	うるま市	24,861	6,741	27.1	那覇市	55,264	17,423	31.5	粟国村	161	54	33.5	八重瀬町	5,050	1,784	35.3	北中城村	3,124	1,144	36.6
34	八重瀬町	4,933	1,337	26.8	全	22,520,576	7,067,714	31.4	中城村	3,075	1,023	33.3	粟国村	156	55	35.3	北中城村	3,243	1,138	35.1
35	沖	25,035	6,472	25.9	糸満市	10,039	3,004	29.9	北中城村	3,251	1,068	32.9	浦添市	18,115	6,217	34.3	宜野座村	16,004	5,476	34.2
36	北谷町	4,924	1,269	25.8	北谷町	5,029	1,478	29.4	本部町	3,066	1,007	32.8	北中城村	3,261	1,071	32.8	沖	25,477	8,683	34.1
37	中城村	3,083	781	25.3	豊見城市	8,933	2,506	28.1	全	22,419,244	7,168,761	32.0	全	22,544,567	7,362,795	32.7	嘉手納町	2,863	974	34.0
38	糸満市	9,994	2,491	24.9	本部町	3,101	900	29.0	豊見城市	9,044	2,797	30.9	豊見城市	9,162	2,960	32.3	全	22,513,746	7,593,659	33.7
39	宜野座村	15,961	3,796	23.8	うるま市	24,808	7,169	28.9	うるま市	24,898	7,459	30.0	中城村	3,131	988	31.6	糸満市	10,087	3,374	33.4
40	那覇市	55,469	12,490	22.5	浦添市	18,006	4,949	26.9	与那原町	2,868	842	29.4	沖	25,528	7,739	30.3	浦添市	18,079	6,046	33.4
41	豊見城市	8,812	1,852	21.0	沖	25,075	6,412	25.6	宜野座村	15,855	4,411	27.8	うるま市	24,597	7,349	29.9	豊見城市	9,210	3,015	32.7
42	浦添市	18,026	3,732	20.7	宜野座村	15,994	3,934	24.6	北谷町	5,003	1,367	27.3	北谷町	5,043	1,448	28.7	うるま市	24,986	7,873	31.5
43	与那原町	2,838	556	19.7	与那原町	2,900	671	23.1	沖	25,144	6,820	27.1	宜野座村	16,029	4,588	28.6	北谷町	5,068	1,568	30.9

■特定保健指導受診率の年次推移（沖縄県国民健康保険団体連合会資料より）

NO	平成20年度			平成21年度			平成22年度			平成23年度			平成24年度			120年～124年	
	市町村	対象者数	終了者数	市町村	対象者数	終了者数	市町村	対象者数	終了者数	市町村	対象者数	終了者数	市町村	対象者数	終了者数	市町村	%
1	北大東村	11	10	89.7	35	38	95.0	40	38	95.0	32	27	84.4	34	91.9	今帰仁村	61.2
2	伊平屋村	41	30	73.2	51	37	72.5	112	89	79.5	215	150	69.8	108	77	伊江村	50.9
3	渡嘉敷村	12	8	66.7	633	439	69.4	672	450	67.0	672	444	66.7	181	129	読谷村	45.7
4	嘉手納町	242	147	60.7	239	145	60.7	50	32	64.0	151	97	64.2	207	146	本部町	43.2
5	渡名喜村	13	7	53.8	564	332	58.9	647	411	63.5	114	73	64.0	125	84	名護市	39.9
6	南大東村	50	26	52.0	17	10	58.8	263	160	60.8	208	132	63.5	600	402	大宜味村	39.3
7	恩納村	228	116	50.9	313	166	53.0	188	114	60.6	611	369	60.4	624	413	読谷村	37.6
8	南城市	60	294	48.9	400	216	50.7	582	339	58.2	58	35	60.3	96	62	宜野座村	36.2
9	伊是名村	40	19	47.5	464	235	50.6	219	125	57.1	682	381	55.8	11	7	久米島町	35.9
10	浦添市	768	361	47.0	16	8	50.0	209	119	56.9	16	9	56.3	576	365	宜野湾市	35.8
11	八重瀬町	273	128	46.9	115	57	49.6	39	22	56.4	473	255	54.5	404	252	竹富町	28.8
12	座間味村	29	13	44.8	122	65	49.2	419	233	55.6	257	140	54.5	157	93	北中城村	28.5
13	粟国村	9	4	44.4	248	117	47.2	11	6	54.5	145	77	53.1	111	65	糸満市	25.7
14	与那原町	95	42	44.2	865	408	47.2	217	113	52.1	184	97	52.7	1,453	809	北谷町	25.5
15	金武町	17	74	43.3	119	55	46.2	238	123	51.7	117	60	51.3	906	501	南風原町	25.4
16	糸満市	536	202	37.7	359	159	44.3	1,158	587	50.7	199	102	51.3	221	118	中城村	23.6
17	南風原町	417	154	36.9	72	31	43.1	141	71	50.4	476	243	51.1	45	24	うるま市	23.3
18	豊見城市	366	125	35.1	212	90	42.5	202	101	50.0	737	370	50.2	446	236	糸満市	23.0
19	那覇市	2,333	795	34.1	2,147	90	42.1	466	232	49.9	1,457	725	49.8	332	175	西原町	22.8
20	国頭村	163	55	33.7	12	5	41.7	771	377	48.9	185	91	49.2	715	359	宮古島市	21.8
21	うるま市	1,521	493	32.4	208	86	41.3	207	101	48.8	323	158	48.9	205	102	宮古島市	20.5
22	宜野座村	116	36	31.0	720	278	38.6	129	62	48.1	176	83	47.2	650	319	糸満市	20.2
23	与那原町	53	16	30.2	703	267	38.0	445	212	47.6	191	90	47.1	16,913	8,249	伊平屋村	18.7
24	中城村	215	64	29.8	191	70	36.6	295	131	44.4	998	467	46.8	214	104	南城市	18.1
25	沖縄県	15,512	4,388	28.3	16,460	5,930	36.0	17,173	7,234	42.1	225	105	46.7	19	9	豊見城市	17.8
26	本部町	182	51	28.0	31	11	35.5	106	43	40.6	16,895	7,864	46.5	60	28	多良間村	17.2
27	宮古島市	798	215	27.3	207	70	33.8	180	72	40.0	409	187	45.7	196	91	与那国町	15.4
28	大宜味村	95	24	25.3	3,121	993	31.8	28	11	39.3	730	330	45.2	203	94	全	8.4
29	西原町	350	81	23.1	1,955	466	30.5	740	283	38.2	187	82	43.9	409	188	浦添市	8.3
30	東村	67	15	22.4	53	15	28.3	11	4	36.4	57	24	42.1	57	26	45.6	7.9
31	読谷村	539	110	20.4	872	244	28.0	1,566	543	34.7	814	340	41.8	957	436	金武町	6.5
32	北中城村	223	40	17.9	534	141	26.4	140	47	33.6	12	5	41.7	27	12	伊是名村	5.8
33	多良間村	53	9	17.0	157	40	25.5	811	288	33.0	34	14	41.2	193	85	八重瀬町	5.8
34	沖縄市	1,375	228	16.6	799	18	22.7	13	4	30.8	39	10	41.0	117	50	那覇市	4.1
35	全	1,058,272	156,101	14.8	988,697	211,988	21.4	3,418	1,034	30.3	10	4	40.0	1,584	627	与那原町	-0.2
36	石垣市	916	132	14.4	10	2	20.0	1,303	393	30.2	1,435	560	39.0	3,391	1,293	座間味村	-0.4
37	竹富町	108	15	13.9	180	34	18.9	80	23	28.8	16	6	37.5	8	3	嘉手納町	-1.5
38	久米島町	197	25	12.7	90	15	16.7	89	25	28.1	3,221	1,145	35.5	874	302	渡嘉敷村	-3.0
39	名護市	793	82	10.3	307	50	16.3	41	11	26.8	865	297	34.3	273	94	恩納村	-4.6
40	宜野湾市	820	80	9.8	1,321	213	16.1	853	203	23.8	100	34	34.0	41	14	南大東村	-5.3
41	今帰仁村	225	21	9.3	172	27	15.7	57	13	22.8	67	21	31.3	66	20	読名書村	-16.3
42	北谷町	270	24	8.9	953,535	198,778	20.8	18	2	11.1	62	16	25.8	932,794	216,693	全	-37.3
43	伊江村	184	14	7.6	52	3	5.8	18	2	11.1	945,245	204,874	21.7	14	1	北大東村	-43.5

## (5) 生活習慣病等の状況

### ① 内臓脂肪症候群の推移

➤ 内臓脂肪症候群（予備群も含む）が増加しています。

平成24年度時点の内臓脂肪症候群（予備群も含む）は35.9%（409人）で県平均の36.7%を下回っていますが、全国平均の27.2%を大きく上回っています。

■内臓脂肪症候群の年次推移（沖縄県国民健康保険団体連合会資料より）

NO	平成20年度			平成21年度			平成22年度			平成23年度			平成24年度			H20年-H24年 伸び率	
	市町村	人	割合	市町村	人	割合	市町村	人	割合	市町村	人	割合	市町村	人	割合		
1	渡名喜村	29	56.9	渡名喜村	31	58.5	渡名喜村	37	66.1	渡名喜村	38	69.1	渡名喜村	38	67.9	渡嘉敷村	12.0
2	粟国村	33	52.4	粟国村	28	52.8	北大東村	33	52.4	伊是名村	92	58.2	粟国村	37	58.7	渡名喜村	11.0
3	多良間村	113	51.8	南大東村	92	49.5	伊江村	342	49.3	粟国村	32	58.2	北大東村	41	56.9	伊平屋村	9.2
4	東村	131	48.3	多良間村	113	48.9	粟国村	26	48.1	北大東村	37	52.1	多良間村	110	54.7	北大東村	9.1
5	北大東村	33	47.8	伊是名村	60	48.8	東村	161	48.1	南大東村	101	50.0	伊是名村	85	48.6	伊是名村	6.6
6	伊江村	322	47.2	伊江村	327	45.4	伊是名村	66	47.5	伊江村	346	47.4	伊江村	314	48.3	粟国村	6.3
7	与那国町	90	45.9	北大東村	27	44.3	多良間村	107	45.7	多良間村	102	46.4	南大東村	98	45.8	久米島町	5.8
8	南大東村	88	45.4	宜野座村	219	43.4	伊平屋村	78	45.6	与那国町	97	45.8	渡嘉敷村	29	45.3	大宜味村	4.9
9	宜野座村	214	44.8	与那国町	96	42.9	与那国町	95	44.4	久米島町	388	45.5	与那国町	95	45.2	与那原町	3.9
10	宮古島市	1,526	42.4	国頭村	297	42.4	久米島町	345	43.0	伊平屋村	71	43.8	東村	130	44.7	西原町	3.0
11	金武町	322	42.4	名護市	1,594	41.9	名護市	1,756	42.9	東村	136	43.3	久米島町	437	44.5	多良間村	2.9
12	国頭村	270	42.2	東村	127	41.6	恩納村	444	42.6	宮古島市	1,914	42.7	宮古島市	1,967	44.5	竹富町	2.3
13	伊是名村	50	42.0	石垣市	1,597	41.5	国頭村	274	42.4	宜野座村	268	42.4	伊平屋村	71	44.4	宮古島市	2.0
14	恩納村	393	41.1	金武町	378	41.4	金武町	393	42.3	大宜味村	215	42.2	宜野座村	275	44.1	南城市	1.8
15	名護市	1,484	40.9	宮古島市	1,597	41.0	宜野座村	235	41.9	恩納村	434	42.1	大宜味村	212	42.7	宜野湾市	1.8
16	今帰仁村	376	40.7	恩納村	414	40.0	宮古島市	1,828	41.8	金武町	451	42.1	国頭村	272	42.6	豊見城市	1.7
17	中城村	312	39.9	渡嘉敷村	30	40.0	南大東村	82	41.4	渡嘉敷村	31	41.9	恩納村	455	42.4	那覇市	1.4
18	嘉手納町	402	39.3	本部町	354	39.3	今帰仁村	432	41.3	国頭村	270	41.1	金武町	427	41.0	恩納村	1.3
19	石垣市	1,418	39.3	うるま市	2,813	39.2	大宜味村	170	40.7	名護市	1,747	40.5	名護市	1,639	39.6	伊江村	1.1
20	うるま市	2,627	39.0	西原町	822	39.1	本部町	407	40.4	石垣市	1,609	40.0	今帰仁村	399	39.3	糸満市	0.9
21	久米島町	299	38.8	大宜味村	174	38.9	石垣市	1,487	39.6	本部町	444	39.7	西原町	870	38.8	南大東村	0.4
22	大宜味村	161	37.9	中城村	420	38.5	西原町	847	39.5	今帰仁村	399	39.7	うるま市	3,003	38.1	国頭村	0.4
23	八重瀬町	506	37.8	今帰仁村	359	38.5	うるま市	2,890	38.7	南城市	1,432	38.3	石垣市	1,669	38.1	本部町	0.2
24	本部町	334	37.6	久米島町	326	38.0	南城市	1,316	37.5	西原町	847	38.3	糸満市	1,284	38.1	沖縄県	-0.1
25	糸満市	927	37.1	伊平屋村	68	38.0	糸満市	1,307	37.3	うるま市	2,813	38.3	本部町	449	37.9	浦添市	-0.1
26	北中城村	363	36.8	八重瀬町	608	37.8	沖縄県	33,281	37.0	糸満市	1,358	37.8	沖縄県	35,865	36.7	北谷町	-0.4
27	沖縄県	26,457	36.7	糸満市	1,120	37.3	中城村	373	36.5	沖縄県	34,849	37.0	南城市	1,343	36.1	与那国町	-0.7
28	南風原町	705	36.1	南城市	1,258	36.6	嘉手納町	377	35.7	北中城村	382	35.7	北中城村	409	35.9	宜野座村	-0.7
29	読谷村	906	36.1	沖縄県	30,548	36.6	読谷村	1,067	35.6	読谷村	1,172	35.6	豊見城市	1,073	35.6	沖縄県	-0.8
30	西原町	573	35.8	読谷村	955	36.5	南風原町	827	35.4	豊見城市	1,050	35.5	読谷村	1,191	35.0	うるま市	-0.8
31	沖縄市	2,296	35.5	嘉手納町	392	35.7	八重瀬町	593	35.1	竹富町	209	35.4	嘉手納町	338	34.7	北中城村	-0.8
32	伊平屋村	51	35.2	沖縄市	2,204	34.4	渡嘉敷村	23	34.8	南風原町	952	35.3	南風原町	891	34.7	読谷村	-1.1
33	南城市	1,019	34.3	北谷町	507	34.3	北谷町	475	34.7	浦添市	2,181	35.1	沖縄市	3,012	34.7	石垣市	-1.2
34	豊見城市	627	33.9	南風原町	695	34.2	那覇市	6,611	34.7	那覇市	6,834	34.9	那覇市	7,106	34.5	全国	-1.2
35	座間味村	44	33.8	宜野湾市	1,333	33.9	浦添市	2,174	34.6	八重瀬町	622	34.8	八重瀬町	655	34.4	名護市	-1.4
36	北谷町	429	33.8	与那原町	227	33.8	北中城村	369	34.6	沖縄市	2,681	34.6	中城村	392	34.3	南風原町	-1.4
37	浦添市	1,263	33.4	北中城村	377	33.4	豊見城市	962	34.4	与那原町	370	34.5	宜野湾市	1,861	34.0	金武町	-1.4
38	渡嘉敷村	20	33.3	那覇市	5,811	33.4	沖縄市	2,313	33.9	中城村	341	34.5	竹富町	208	33.9	今帰仁村	-1.4
39	那覇市	4,140	33.1	豊見城市	861	33.1	座間味村	50	33.3	嘉手納町	356	34.4	北谷町	524	33.4	八重瀬町	-3.5
40	宜野湾市	1,223	32.2	竹富町	208	33.1	宜野湾市	1,463	33.2	座間味村	51	33.8	与那原町	401	33.4	東村	-3.7
41	竹富町	173	31.6	浦添市	1,584	32.7	与那原町	273	32.4	北谷町	489	33.7	浦添市	2,014	33.3	嘉手納町	-4.6
42	与那原町	165	29.5	座間味村	45	31.3	竹富町	173	29.6	宜野湾市	1,487	32.4	全国	2,067,327	27.2	中城村	-5.7
43	全国	1,979,658	28.4	全国	1,940,513	27.4	全国	1,944,171	27.1	全国	2,008,693	27.3	座間味村	41	24.1	座間味村	-9.7

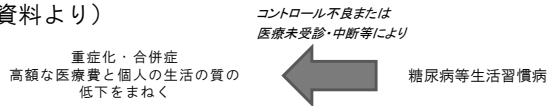


② 生活習慣病の推移

- 生活習慣病で脂質異常症の方の割合が、県平均よりも高くなっています。

平成24年度の本村の生活習慣病の方は1,139人、そのうち脂質異常症である方は60.1% (684人) と、県平均の52.2%より高くなっています。

■生活習慣病の状況（沖縄県国民健康保険団体連合会資料より）



	40～74歳の被保険者数(人)			ひと月のレセ件数				生活習慣病(人)			脳血管疾患(人)		虚血性心疾患(人)		人工透析(人)		糖尿病(人)		高血圧(人)		脂質異常症(人)		高尿酸血症(人)	
	平成20年	平成24年	増減	平成20年		平成24年		平成20年	平成24年	増減	平成20年	平成24年	平成20年	平成24年	平成20年	平成24年	平成20年	平成24年	平成20年	平成24年	平成20年	平成24年	平成20年	平成24年
				全体	生活習慣病	全体	生活習慣病																	
沖縄県	296,137	298,648	3,511	192,139	135,008	197,171	145,842	89,331	96,835	7,504	13,164	15,195	12,900	13,555	1,454	16,185	31,240	38,155	64,594	69,336	41,988	50,552	12,585	16,185
割合	/	/	/	100.0	70.3	100.0	74.0	/	/	/	14.7	15.7	14.4	14.0	1.63	16.7	35.0	39.4	72.3	71.6	47.0	52.2	14.1	16.7
北中城村	3,631	3,679	48	2,391	1,699	2,265	1,674	1,081	1,139	58	151	164	156	161	25	172	366	446	746	772	557	684	160	172
割合	/	/	/	100.0	71.1	100.0	73.9	/	/	/	14.0	14.4	14.4	14.1	2.31	15.1	33.9	39.2	69.0	67.8	51.5	60.1	14.8	15.1

(6) 死亡率等の状況

① 死因別の死亡数

- 死因は悪性新生物が1位で、次いで心疾患となっています。

平成21年度の本村の死亡者数は107名で、死因で最も多いのが悪性新生物で24.3% (26人)、次いで心疾患が16.8% (18名)、急性心筋梗塞が6.5% (7名) となっています。

また、平成17年から経年でみると、脳梗塞による死亡率は県平均より低い一方、心疾患による死亡率は県平均より高い状況が続いています。

■死因別の死亡数（沖縄県衛生統計年報《人口動態編》より）

	平成17年			平成18年			平成19年			平成20年			平成21年			
	全死亡者	死亡者	率(A/B)	全死亡者	死亡者	率(D/C)	全死亡者	死亡者	率(F/E)	全死亡者	死亡者	率(H/G)	全死亡者	死亡者	率(I/J)	
悪性新生物	沖縄県	9,021	2,516	27.9	9,121	2,522	27.7	9,399	2,613	27.8	9,492	2,717	28.6	9,923	2,643	26.6
	北中城村	106	36	34.0	114	35	30.7	100	23	23.0	124	30	24.2	107	26	24.3
心疾患	沖縄県	9,021	1,260	14.0	9,121	1,295	14.2	9,399	1,314	14.0	9,492	1,368	14.4	9,923	1,437	14.5
	北中城村	106	15	14.2	114	17	14.9	100	18	18.0	124	19	15.3	107	18	16.8
急性心筋梗塞	沖縄県	9,021	476	5.3	9,121	458	5.0	9,399	427	4.5	9,492	428	4.5	9,923	448	4.5
	北中城村	106	5	4.7	114	5	4.4	100	6	6.0	124	9	7.3	107	7	6.5
脳血管疾患	沖縄県	9,021	792	8.8	9,121	804	8.8	9,399	887	9.4	9,492	841	8.9	9,923	848	8.5
	北中城村	106	6	5.7	114	8	7.0	100	10	10.0	124	12	9.7	107	5	4.7
脳梗塞	沖縄県	9,021	388	4.3	9,121	384	4.2	9,399	399	4.2	9,492	385	4.1	9,923	383	3.9
	北中城村	106	2	1.9	114	4	3.5	100	4	4.0	124	3	2.4	107	1	0.9
自殺	沖縄県	9,021	328	3.6	9,121	374	4.1	9,399	319	3.4	9,492	328	3.5	9,923	383	3.9
	北中城村	106	7	6.6	114	4	3.5	100	1	1.0	124	3	2.4	107	5	4.7
不慮の事故	沖縄県	9,021	283	3.1	9,121	314	3.4	9,399	318	3.4	9,492	269	2.8	9,923	326	3.3
	北中城村	106	1	0.9	114	3	2.6	100	2	2.0	124	2	1.6	107	5	4.7
肝疾患	沖縄県	9,021	240	2.7	9,121	222	2.4	9,399	247	2.6	9,492	239	2.5	9,923	258	2.6
	北中城村	106	3	2.8	114	1	0.9	100	1	1.0	124	1	0.8	107	3	2.8
糖尿病	沖縄県	9,021	155	1.7	9,121	156	1.7	9,399	139	1.5	9,492	155	1.6	9,923	146	1.5
	北中城村	106	1	0.9	114	2	1.8	100	1	1.0	124	3	2.4	107	2	1.9
腎不全	沖縄県	9,021	173	1.9	9,121	162	1.8	9,399	144	1.5	9,492	163	1.7	9,923	210	2.1
	北中城村	106	3	2.8	114	1	0.9	100	1	1.0	124	2	1.6	107	4	3.7
老衰	沖縄県	9,021	176	2.0	9,121	192	2.1	9,399	237	2.5	9,492	216	2.3	9,923	222	2.2
	北中城村	106	0	0	114	5	4.4	100	1	1.0	124	2	1.6	107	4	3.7
肺炎	沖縄県	9,021	903	10.0	9,121	834	9.1	9,399	839	8.9	9,492	902	9.5	9,923	944	9.5
	北中城村	106	8	7.5	114	10	8.8	100	5	5.0	124	14	11.3	107	2	1.9
慢性閉塞性肺疾患	沖縄県	9,021	243	2.7	9,121	186	2.0	9,399	232	2.5	9,492	227	2.4	9,923	222	2.2
	北中城村	106	1	0.9	114	6	5.3	100	7	7.0	124	1	0.8	107	4	3.7
大動脈瘤及び解離	沖縄県	9,021	109	1.2	9,121	123	1.3	9,399	118	1.3	9,492	136	1.4	9,923	138	1.4
	北中城村	106	2	1.9	114	1	0.9	100	2	2.0	124	4	3.2	107	2	1.9

## ② 65歳未満死亡率

- 沖縄県の65歳未満の死亡率は全国ワースト1位。また、本村の65歳未満死亡率も全国平均値に比べ高い状況が続いています。

65歳未満死亡率を都道府県別にみると、沖縄県の65歳未満死亡率は平成20年(21.9%)、平成22年(20.9%)ともに全国ワースト1位となっています。

また、平成22年における沖縄県と本村の65歳未満死亡率を比較してみると、沖縄県平均20.9%に対し本村は15.3%と、本村の値は県平均より低い数値であることがわかりますが、これは全国平均値の14.8%と比較すると高い数値であり、決して良いとはいえない状況が続いています。

今後本村においては、65歳未満死亡率の減少が課題といえます。

### ■県内市町村の65歳未満死亡率の推移

(沖縄県衛生統計年報「人口動態編」より)

順位	平成19年		平成20年		平成21年		平成22年	
	総数		総数		総数		総数	
1	伊是名村	29.4	多良間村	27.8	金武町	32.3	南大東村	44.4
2	沖縄市	28.0	恩納村	27.3	宜野湾市	27.9	渡嘉敷村	40.0
3	中城村	27.1	西原町	26.8	南風原町	27.7	多良間村	35.7
4	糸満市	27.0	東原村	26.7	豊見城市	26.7	金武町	33.6
5	金武町	27.0	座間味村	26.7	浦添市	25.6	渡名喜村	30.0
6	浦添市	26.3	北谷町	26.4	石垣市	24.9	沖縄市	27.4
7	嘉手納町	26.2	沖縄市	26.3	沖繩市	23.9	石垣市	26.5
8	宜野湾市	25.7	読谷村	26.0	名護市	23.7	北中城村	26.2
9	うるま市	24.8	久米島町	25.5	うるま市	23.0	宜野湾市	26.1
10	名護市	24.8	宜野湾市	25.2	糸満市	22.4	嘉手納町	25.7
11	読谷村	24.0	渡嘉敷村	25.0	南大東村	22.2	西原町	25.6
12	南風原町	24.0	石垣市	24.0	沖縄県	21.9	浦添市	25.5
13	那覇市	23.9	浦添市	23.8	東原村	21.7	豊見城市	24.8
14	伊平屋村	23.1	糸満市	23.0	八重瀬町	21.5	糸満市	24.3
15	沖縄県	23.1	うるま市	21.7	座間味村	21.4	読谷村	22.7
16	石垣市	23.0	那覇市	21.7	那覇市	21.1	沖縄県	22.3
17	西原町	22.3	沖縄県	21.6	北中城村	21.0	うるま市	22.1
18	竹富町	22.0	南風原町	21.6	北谷町	20.8	那覇市	21.8
19	南城市	20.6	金武町	21.4	与那原町	20.6	南風原町	20.4
20	恩納村	20.2	中城村	20.7	渡名喜村	20.0	名護市	20.4
21	本部町	19.6	本部町	20.0	伊江村	19.6	宜野座村	20.0
22	豊見城市	19.0	嘉手納町	20.0	竹富町	19.5	北谷町	20.0
23	宜野座村	19.0	八重瀬町	20.0	宮古島市	19.4	座間味村	20.0
24	八重瀬町	19.0	与那国町	20.0	読谷村	19.4	与那原町	19.5
25	与那原町	18.7	豊見城市	18.5	伊是名村	19.0	八重瀬町	19.4
26	北谷町	18.4	名護市	18.3	西原町	18.9	南城市	18.9
27	北中城村	18.4	南大東村	18.2	国頭村	18.2	恩納村	18.8
28	今帰仁村	18.3	今帰仁村	17.3	与那国町	18.2	宮古島市	18.2
29	国頭村	18.2	大宜味村	17.0	南城市	17.7	国頭村	17.8
30	久米島町	17.8	与那原町	17.0	恩納村	17.2	伊江村	17.6
31	座間味村	16.7	南城市	16.9	久米島町	16.8	伊平屋村	17.6
32	大宜味村	15.4	宜野座村	16.7	嘉手納町	16.0	久米島町	17.6
33	宮古島市	15.1	伊江村	16.3	多良間村	15.4	本部町	16.3
34	東原村	14.3	国頭村	15.9	今帰仁村	14.8	中城村	15.2
35	粟国村	11.8	宮古島市	15.5	中城村	14.0	東原村	13.6
36	渡嘉敷村	11.1	竹富町	15.2	宜野座村	12.2	伊是名村	12.1
37	南大東村	11.1	粟国村	14.3	本部町	11.8	今帰仁村	11.3
38	渡名喜村	10.0	北中城村	13.1	伊平屋村	11.8	粟国村	9.1
39	多良間村	7.1	渡名喜村	12.5	渡嘉敷村	8.3	与那国町	7.7
40	伊江村	6.5	伊是名村	10.5	大宜味村	8.1	大宜味村	6.3
41	北大東村	0	伊平屋村	10.0	粟国村	0	竹富町	5.0
42	与那国町	0	北大東村	0	北大東村	0	北大東村	0
							伊是名村	8

### ■65歳未満死亡の割合(沖縄県)

(国民健康保険団体連合会資料より)

順位	総数	
	平成20年	平成22年
1	沖縄	21.9
2	埼玉	19.8
3	千葉	18.7
4	大阪	18.3
5	神奈川	18.2
6	東京	17.6
7	愛知	17.2
8	北海道	16.7
9	栃木	16.6
10	茨城	16.4
11	福岡	16.4
12	青森	16.3
13	宮城	16.1
14	★全国	15.8
15	兵庫	15.6
16	群馬	15.1
17	宮崎	15.0
18	京都	14.7
19	滋賀	14.7
20	広島	14.6
21	静岡	14.6
22	長崎	14.5
23	奈良	14.3
24	岩手	14.3
25	愛媛	14.2
26	佐賀	14.2
27	福島	14.1
28	岐阜	14.0
29	富山	13.9
30	三重	13.8
31	山梨	13.6
32	石川	13.6
33	鳥取	13.5
34	香川	13.4
35	和歌山	13.4
36	岡山	13.3
37	新潟	13.2
38	熊本	13.2
39	大分	13.1
40	高知	12.9
41	秋田	12.9
42	鹿児島	12.8
43	徳島	12.8
44	山口	12.5
45	福井	12.1
46	長野	12.0
47	山形	11.9
48	島根	11.9

## (7) 医療費増加の要因分析

- 医療費が増加しており、心不全や虚血心疾患などの心疾患が多いことが原因となっています。

平成20年度と平成24年度のデータを比較すると、医療費が1か月に200万円以上になっているレセプトの件数は、平成20年度の16件から平成24年度の37件へと約2倍の増加、医療費は平成20年度の約4,800万円から平成24年度の約1億1,100万円へと約2倍の増加をしており、平成24年度には全体医療費等約11億円のうちの9.5%を1件200万円以上のレセプトが占める状況となっています。

また、平成24年度は6,022人中28人(0.4%)が1か月に200万円以上の治療を要しており、主病別では心疾患やがんが多く、性別では男性の割合が多いことから、特定健康診査等の受診者を増やし重症化を予防することが医療費の健全化につながると思われます。

■療養費と療養給付費の総額（平成24年度「おきなわの国保事業状況」より）

11億6,107万748円（内訳：一般1,105,148,104円、退職55,922,644円）

200万円以上の推移（北中城村 国保ネットより）

（件）

費用額	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
400万円以上	2	0	6	8	8
300万円台	3	0	4	2	6
200万円台	11	5	8	27	21
合計	16	5	18	37	35

200万円以上の入院レセプト状況（北中城村 国保ネットより）

		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
件数		16	5	18	37	35
実人員	性別	14	5	17	28	28
	男	12	3	14	15	17
	女	2	2	3	13	11
主病（件数）	心疾患	3	1	5	12	3
	がん	1	1	2	0	1
	脳疾患	0	0	1	4	1
	糖尿病	3	0	0	1	0
	その他	9	3	10	20	30
総額（円）		48,094,300	12,119,000	63,426,170	126,419,320	111,074,400